

特31

458

卷二

卷二

東山

中山道

奥羽

日本地誌要畧

大槻修二編

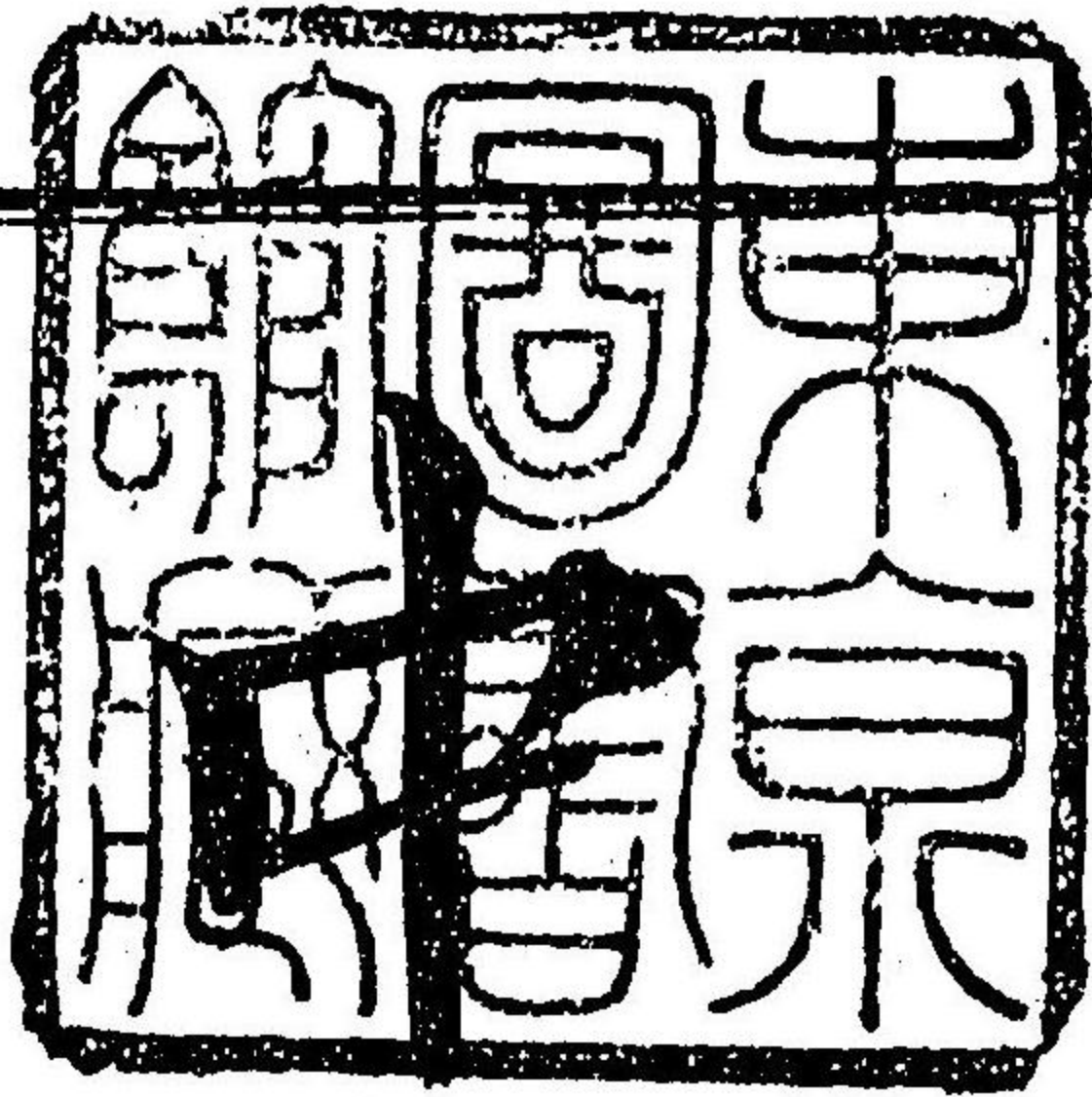
二

大日本教育會館印

第三室

三	一	一	一
一	六	五	一
一	號	架	函
五	冊		

特31
458



山道全圖

欠

MISSING

東山道



東山道

陸前陸中陸

信濃上野下野岩代磐城

陸前陸中陸ノ十三國ナリ、近江以下ノ間ニ夾リ、東ニ亘ル百

五十里、是ヲ中山道ト稱ス、北境ハ連岳一帯相列ル、即、全國ノ脊梁ナル大山脈ニシテ、其南ヲ限ル山脈ハ、信濃ノ東端ヨリ西ニ連リ、海山兩道ノ中間ヲ亘リ、美濃尾張ノ間ニ至リテ盡ク、近江ハ畿内、及山陰道ニ接シ、四圍皆山ナリ、中ニ一大湖ヲ湛フ、琵琶湖是ナリ、美濃ハ南ニ亘リテ、地勢甚平

ナリ、飛彈、信濃ハ山脈ノ間ニアリ、上野、下野ハ關東ニ屬シテ、八州ノ平野ニ連リタリ、其岩代以下ハ、地勢折レテ北ニ赴ク、亦百五十里、東西ニ海ヲ受ケ、北端ハ、北海道ト相對ス、即陸奥出羽ノ舊地ニシテ、地勢風土、自一道ヲナス、故ニ今、全道ヲ以テ、中山、奥羽ノ西部ニ分ツ、

近江ハ十二郡、滋賀、栗本、甲賀、野洲、蒲生、神崎、愛智、犬上、阪田、淺井、伊香、高島ナリ、

古ハ淡海ト云フ、國ノ中央ニ一大湖水アリ、故ニ名ク、其後、遠江ト相對シテ、今ノ字ヲ用キタレド、

尚、其稱呼ヲ改メバ、○湖水ハ、南北、二十里計、周回

ハ七十三里ナリ、其幅ハ、東北、頗廣大ニシテ、十餘

里ニ及ベ、凡、西南ニ至リテハ、堅田、今濱ノ間ヨリ、

兩岸漸狭リテ、其間二三里ニ過キズ、鳴海ト云ヒ、

又形ヲ以テ琵琶湖トモ呼ブ、日本第一ノ大湖ニ

シテ、富士山ト並稱シテ、我國ノ雙美トナス、風光

ノ美麗ナルヲハ、比良、暮雪、栗津、晴嵐等、謂ユルハ

景ノ稱アリ、湖面ハ殊ニ平ニシテ、鏡ヲ開クカ如

ク、沖島、竹島ノ二小島、其中心ニアリ、沖島稍大ナ

リ、而テ竹生島ハ、湖ノ北隅ニ峙チ、岸ヲ距ルヲ僅

ニ半里斗、其周回モ亦相若ク、全山、岩石ニシテ、四面共ニ絶壁ナリ、岩下ニ洞門アリ、其他ハ屏風材木ノ諸岩アリ、山上ニ觀音堂ヲ設ク、故ニ詣スル者、常ニ多シ、是ヲ湖中奇絶ノ處トナス、湖水、南ニ流レ、大津、粟津ヲ過ギ、逼リテ川トナル、是ヲ勢田川ト云フ、大小ニ橋アリ、其長、一百廿間、此橋ハ京畿ヨリ東方ヲ扼スル要口ニシテ、古來、争亂ノ日、攻守相挑ミテ、屢是ヲ燒キ落ス、遠クハ壬申ノ亂ヨリ、治承、承久ノ役、元弘、應仁ノ戰、皆然ラザルナシ、然レモ守者多ク、敗ル、惟、押勝ノ叛ニ、走路ヲ斷

チテ、其功ヲ奏スルノミ、○川流ハ南ニ下リ、石山ヲ過ギテ西ニ轉シ、四里ニシテ山城ニ入ル、宇治川、是ナリ、國境ハ、兩岸高ク逼リ、岩石河中ニ並峙チ、鹿飛、米炊等ノ險アリ、

大津ハ一大都會ニシテ、東海、東山ノ官道ニ當リ、西京ヲ距ル僅ニ三里、中間ニ逢坂山アリ、古ハ京畿ノ關門ヲ置キ、關東ノ稱ノ由テ起ル所ナリ、西ハ、志賀山、長等山等、相連リテ、比叡山ニ接ス、其麓ニ三井寺、日吉社等ノ古寺大社アリ、街市ハ膳所ノ城市ト相連リテ、湖水ノ西南ノ隅ニ臨ミ、北岸

ナル海津、鹽津ト、通船常ニ湖上ヲ往来シ、近年ハ、蒸氣船ヲ用キ、北國ノ運輸大ニ其便利ヲ得タリ、而テ西國ノ通路ハ、伏見ハ直道四里ニシテ、淀川ノ船運アリ、○抑此國ハ、畿内ニ接近スル故ニ、帝都ヲ建テ給フテアリ、成務帝ハ志賀ニ都シ、天智弘文ノ二世ハ、大津宮ニ居給ヒ、其後、孝謙帝ノ時ニ、紫香樂宮ヲ造リ給フ、凡畿外ニテ、定リタル都趾ヲ存スル者、此國アルノミ、國ノ四境ハ、悉連山繞リ圍ミ、内地ハ湖水ヲ以テ、東近江、西近江ノ稱呼ヲ建ツ、西地稍狭ク、比良、朽

木ノ諸山ハ、比叡山ノ北ニ連リ、山城、丹波若狹ニ接ス、湖ノ岸ニハ、大溝、今津ノ諸邑アリ、○東地頗廣シ、南ニ三上山、鏡山アリ、北ニ佐和山、磨針嶺アリ、中間ハ蒲生野、沖野等アリ、佐々木氏世々此地ヲ領シ、城ヲ觀音寺ニ構フ、遂ニ織田右府ニ滅サル、右府更ニ安土ニ築キ、湖水ニ臨ミテ、城壁ヲ設ク、其製造最堅固ニシテ、天守閣ノ制ハ、實ニ此城ヲ以テ始トス、彦根ハ繁盛ナル城市ニシテ、佐和山ノ南ニアリ、其西濱ヨリ湖ニ沿フテ、北、五里ヲ長濱トナス、羽柴氏ノ嘗テ城ヲ設ケシ處ニシテ、

街市ノ繁榮、運輸ノ盛ナルヲ、大津ニ次クト云フ。此邊ヨリ東北ニ亘リテ、湖北ノ稱アリ、淺井氏ノ所領ニシテ、其城趾ヲ小谷山ト云フ。伊吹山ハ、美濃ニ跨ル大山ニシテ、高ク東境ニ列リ、群岳ノ上ニ出ツ。蓋此山ハ、北境ニ亘ル大山脈ヨリ、南ニ分レテ、別ニ一ノ山脈ヲ起ス者ニシテ、靈山、其脈ヲ受ケテ、本中北ノ三峯相聳ユ。三國岳、釋迦岳、高畑山等ノ連山、其南ニ並列リテ、伊勢ノ藤原、鎌、鈴鹿ノ諸山ト腹背ヲナス。正南ハ伊賀ヲ包ミテ、油日山、土岐峠等アリ。遼ニ南ニ走リ、大和

紀伊ニ入り、吉野、熊野ノ重山疊峯トナリテ、南洋ノ岸ニ盡ク。○横山、新穂ノ諸岳ハ、伊吹山ノ後陰ニ列リ、北ニ環リテ、越前ト界ヲ分ツ。椽木峠、山中越等ハ、大山脈ノ間ヲ貫ク坂路ニシテ、頗、險峻ナレド、北國ニ往來運輸スル者ハ、人馬共ニ是ニ由ラサルナシ。全國ノ川流ハ、四境ノ山溪ヨリ出テ、悉湖ニ入ル。土俗ハ八百八水アリト云フ。然レモ平時ハ水ナキ者多シ。且、川路ハ何レモ長キ堤上ニアリテ、其高ハ殆ど人家ノ屋梁ト均シキ者アリ。黒津川ハ

源ヲ土岐峠ニ發シ、北ニ下リテ西ニ轉ジ、大戸ノ
瀧トナル、沿岸ノ地ハ、即信樂郷ニシテ、孝謙帝ノ
宮趾アリ、其地性茶ニ適ヒテ、山城ノ宇治ト並稱
セラル、下流ハ田上川ト共ニ、勢田川ニ入ル、松尾
川ハ、高畑山ヨリ出テ、西ニ流レテ土山水口ヲ過
ギ、横田川ト云フ、野田川ハ、油日山ヨリ来リ、相會
ノテ三上山ノ麓ヲ流レ、末ハ分レテ二川トナル、
本流ハ今濱ニ注ク、共ニ野洲川ト云フ、愛智川ハ、
釋迦岳ニ出テ、源流ニ萱尾瀧アリ、犬上川ハ、三國
岳ニ發ス、一ニ高宮川ト云フ、各西ニ流レテ、安土

彦根ノ間ニ入ル、其他ハ仁保、善利ノ諸川アリ、湖
西ハ石田川、安曇川ナリ、而テ湖北ニ妙川アリ、新
穂岳ニ出テ、西ニ折レ、草野川ヲ并セ、椽木峠ヨ
リ來ル高時川ト共ニ、長濱ノ北ニ落ツ、朝妻川ハ
源ヲ靈山ニ發シ、伊吹山ノ南ニ出ツル、大富川ヲ
併セ、朝妻ニ至リ、湖ニ入ル、故ニ名ク、北隅更ニ余
吾川アリ、源ヲ余吾湖ト云フ、周回一里半、賤岳ヲ
以テ、大湖ノ間ヲ限ル、湖ノ北ハ、木本柳瀬ヨリ、北
ハ椽木峠ニ至ル、村里皆兩山ノ峽ニアリ、山内ト
稱ス、越前ノ兵常ニ此間ニ出テ、敗亡スル者前

後兩氏アリ、朝倉氏ハ淺井氏ヲ助ケテ、姊川ニ敗レ、共ニ其祀ヲ斷ツ、柴田氏ハ輕進シテ、柳瀬ノ敗アリ、國忽亡滅ニ就ク、兩次ノ勝敗、遂ニ織田氏羽柴氏ヲシテ、大ニ其志ヲ得セシム、賤岳ノ七槍ハ、尤其著名ナル者ナリ、

美濃ハ、多藝、石津、不破、安八、池田、大野、木巢、席田、厚見、各務、方縣、山縣、武儀、郡上、賀茂、可兒、土岐、惠那、及羽栗、中島、海西ノ二十一郡ナレド、羽栗以下ハ、元尾張ノ地ナリ、木曾川ノ變遷ニ由リテ、此國ニ分屬ス、故ニ兩國同名ノ郡アリ

東北西ノ三面ハ、連山繞リ圍エ、北境ハ、謂ユル大山脈ニシテ、昆沙門岳、若岳、明神山、屏風山等、相列リテ、殊ニ重深ナリ、稍西南ニ赴キテ、雷冥權現ノ諸山並列シテ、伊吹山ニ接ス、國內ハ中央ヨリ西南ニ亘リテ、不破野、大野、各務野、三野アリ、國名ノ由リテ起ル所ナリ、故ニ地勢甚平坦ニシテ、直ニ尾張、伊勢ニ連ル、土地膏沃ニシテ、多ク良米ヲ産シ、河道四通シテ、運漕極テ便ナリ、然レモ往々水害ヲ受ク、木曾川ヲ以テ其國境ヲ分テリ、木曾川ハ、源ヲ木曾山中ニ發シ、東ヨリ来リテ西

南ニ流レ、落合ヨリ川合ニ至ル迄、其間十五里、兩岸相逼リ、水流急激ニシテ、舟ヲ通スルヲ能ハズ、其沿岸ノ郡邑モ、悉ク山間ニアリ、此地ハ國ノ東南隅ニシテ、三河、飛彈ノ間ニ夾マリ、東ハ惠那岳、高ク聳エ、十曲嶺、其北ニ並ビテ、共ニ信濃ニ接ス、嶺上ヲ木曾ノ分界トナス、其他又琵琶峠十三峠等アリ、中津川、大井川等ハ、悉ク木曾川ニ入ル、唯土岐川ノミ南ニ下リテ、尾張ニ入ル、飛彈川モ亦直流急下シ、馬瀬川ヲ併セ、南ニ流レテ川合ニ會ス、兩川相合フテ、水勢愈大ナリ、一里ニシテ太田ニ至

ル、山圍始テ解ク、又舟行ノ利アリ、國境ニ沿フテ、西ニ赴キ、各務野ノ南ヲ限リ、笠松ニ至ル、此地ハ頗繁盛ナル街市ナリ、是ヨリ以下ハ漸ク大船ヲ用キ、往復殊ニ繁シ、洲股川ト合フテ、南ニ流ル、此川ハ源ヨリ海口ニ至ル、長流六十里ナレド、河運ノ便ハ、其半ニ及バズト云フ、

郡上郡ハ、諸郡ノ上ニ居リ、東ハ飛彈ニ接シ、北ハ越前ニ界ス、大日岳兩國ノ中間ニ峙テ、西麓ニ阿彌陀瀧アリ、飛流五十丈、頗奇觀タリ、其傍ニ村摩池アリ、東ニ水字禮池アリ、衆流相集リ、藍見川ト

ナリ、山間ヲ南ニ下ル數里ニシテ、既ニ舟楫ノ利
アリ、曾代、立花ヲ過ギ、昆沙門岳ヨリ来ル、收川ヲ
併セ、西ニ赴ク、此間ハ兩岸ノ地、往々景勝ノ處多
シ、岐阜ヲ過ギテ、長良川ト云フ、是ヨリ沿岸ノ地
悉平坦ナリ、糸貫川ヲ併セ、下流ヲ洲股川ト云フ、
此地ハ養和ノ古戰場ニシテ、平重衡大ニ源行家
ヲ敗リ、其姪義圓ヲ殺シ、其子行賴ヲ生擒ス、其平
野ノ中央ヲ横流スル巨川ナルヲ以テ、水害ノ多
キ實ニ此川ヲ以テ第一トナスト云フ、
揖斐川、叢川ハ、共ニ北境ノ山溪ニ發シ、一ハ東一

ハ西、各山間ヲ出テ、大野ヲ抱キテ相會シ、杭瀬川
ト云フ、大垣ノ東ヲ過ギテ、舟運ノ往来、伊勢ノ糸
名ニ通ズ、栗笠ニ至リ、收田川ヲ併セ、南流シテ伊
勢尾張ノ間ニ入ル、伊尾川是ナリ、
岐阜ハ、稻葉山ニ據リ、長良川ヲ帶ヒ、東南ハ各務
野ヲ一望ス、街市ハ加納ノ城市ト相連ル、其間一
里斗、其南ハ笠松ニ接ス、故ニ運輸ノ便、甚盛ニシ
テ、一都會ノ地ナリ、齋藤道三、其主、土岐氏ヲ逐ヒ
テ、此國ヲ奪ヒ、居城ヲ茲ニ構フ、其子龍興ニ至リ、
織田氏ニ滅サル、織田氏更ニ城樓ヲ稻葉山ニ築

キ、尾張ノ清洲ヨリ来リ遷リ、後又近江ニ遷ル
云フ、○大垣モ亦一都會ナル城市ニシテ、越前近
江ヨリ、東海道ニ出ヅルノ官道ニ當リ、水陸共ニ
通路アリ、石田三成ノ兵ヲ舉ゲテ、徳川氏ニ抗ス
ルヤ、東軍ヲ此城ニ要セントシ、遂ニ出テ、關原
ニ戦ヒ、西軍大ニ敗ル、此原ハ即、不破野ニシテ、又
○青野トモ云フ、天武帝、不破關ヲ置キ、伊勢ノ鈴鹿
越前ノ愛發ト並立テ、三關ト稱ス、桓武帝ニ至
リ、其徒ニ中外ヲ隔絶スルヲ以テ、是ヲ廢ス、然レ
氏關下ノ平原ナルヲ以テ、今猶此稱アリ、藤川ハ

伊吹山ヨリ出テ、原中ヲ流レ、藤子川ト呼ブ、下流
ハ即、牧田川ナリ、
○元正帝多度山ニ幸シ、醴泉ヲ賞覽シテ、名ヲ養老
ト賜ヒ、遂ニ養老ヲ其年ニ號ス、瀑布ノ高、僅七丈
餘ニシテ、甚大ナラザルモ、山中頗、幽清ノ地タリ、
此山ハ近江ニ接シ、靈山ノ東面ニ當リテ、別ニ一
帶ノ小山脈ヲナシテ、南ニ亘リ、伊勢ノ多度山ニ
連ル、

飛彈ハ、三郡ニシテ、大野、吉城、益田ト云フ、西隅
ノ鄉村ハ、白川沿岸ノ地ニシテ、地勢僻絶、其相

統屬スルヲナキヲ以テ、假ニ大原郡ヲ置キ、是
ヲ區別セシガ、近時再大野郡ニ屬スト云フ、
四境共ニ大岳峻嶺、相圍ニテ、國中モ山深ク谷幽
ナリ、謂ユル全國ニ亘ル、大山脈ノ中間ニ在ル國
ニシテ、氣候特ニ寒ク、五月花咲キ、七月麥熟ス、東
南西ノ三面ハ、信濃、美濃ニ包マレ、其往來スル坂
路ハ、何レモ險シキ峠ニシテ、三冬ハ冰雪凝リ結
ビテ、人馬ヲ通ゼザルヲアリ、而テ水流ハ、多ク北
ニ流レテ越中ニ入ル、故ニ地勢ハ、東山ニ背キ北
陸ニ向ヒタリ、

高山ハ國ノ中央ナル都會ナリ、此間ハ地形平坦
ニシテ、宮川ニ大橋ヲ架ク、街市繁盛ナルヲ、實ニ
山間ノ一大邑タリ、天正中、金森氏、國中ノ諸族ヲ
平ケ、三木氏ノ舊規ニ因リテ、城ヲ此地ニ築ク、其
封ヲ移スニ及ビテ、遂ニ廢墟トナル、位山ハ其南
ニ峙チ、滿山悉櫟樹ニシテ、其昔ハ例ニ御笏ノ用
ニ供ス、仍テ此名アリ、其上ヲ川上岳トナシ、其西
ヲ龍峯トナス、而テ東ニ亘リテハ、一帶山脈相連
リ、地勢ヲ限リテ、赤鞍岳ノ麓ニ達ス、國中ノ諸川、
是ヲ以テ其流ヲ異ニス、

乗鞍岳ハ、東境ニ跨ル大岳ニシテ、國中第一ノ高山ナリ、硫黄岳、槍岳、笠岳、中俣、北俣、兩岳等並列シテ、越中ノ立山ニ連ル、總テ噴火山ニシテ、山頂多ク硫烟ヲ吐ク、正南ニ一大山アリ、其高ハ乗鞍ト相均シ、是ヲ木曾御岳トナス、西境ハ中山、鷲岳等美濃ノ郡上ト山脈ヲ分チ、大日岳、殊ニ高峻ナリ、白木峰ハ上下兩峯アリ、相並ビテ正北ノ國境ニ聳ユ、宮川、白川ノ兩川ハ、峯ノ左右ヲ抱キテ、共ニ越中ニ入り、宮川ヲ神通川トナシ、白川ヲ射水川トナス、

宮川ハ源ヲ位山ニ發ス、川上川ハ西ヨリ来リ、賀川ハ東ヨリ来ル、共ニ高山ノ北ニ會シテ、漸大川ヲナシ、古川ニ至リテ、荒城川ヲ并セ、下流又、小鳥川ヲ并セ、曲屈シテ一谷ニ至リ、高原川ト合ス、是ヲ國ノ北境トナス、高原川ハ乗鞍岳ノ北陰ニ出テ、雙六川ヲ并セ、舟津ヲ過ギテ、又跡津川ヲ并ス、共ニ東境ノ連岳ニ出ヅル者ニシテ、上流ニ温泉多シ、○白川ハ西隅ノ溪谷相集リ、一川ヲナス、沿岸ノ村邑ハ、白川郷ト呼ビ、地勢風俗、自別境ヲナス、其地ハ加賀、越前ノ後背ニ當リ、白山高ク其

西ニ聳エ立ツ、三方嶺及笈岳、劍岳ノ諸峻山、相並
ビテ、道路ノ通ゼサル處トス、○總テ此國ノ鄉村
ハ、山間ニ夾レ、悉、河岸ニ沿フ者ニシテ、荒城郷、高
原郷等ノ稱アリ、舟津古川ノ兩地ハ、高山ニ次ク
街市ニテ、舟津近傍モ亦少ク平坦ナリ、○益田郡
ハ乘鞍岳ノ西、御岳ノ北ニアリテ、兩岳ヨリ出ツ
ル水流ハ、相集リテ山間ヲ環リ流レ、遂ニ南ニ赴
キテ一河ヲナス、郡名ヲ以テ是ヲ呼ブ、沿岸ニ温
泉多ク出ヅ、湯島ハ浴室殊ニ盛ナリ、其流ハ川上
山ヨリ来ル、馬瀨川ト共ニ美濃ニ入ル、飛彈川是

ナリ、

抑此國ハ、南朝ノ時、姊小路家綱、國司ノ任ヲ受ケ、
杉崎城ニ居リ、柳御所ト稱ス、相傳フル十餘世、凡
南朝ノ國司、其久シキヲ得ル者、伊勢ト兩國ノミ、
天正初年ニ至リ、三木氏ニ滅サル、城址、猶古川ノ
北ニ存ス、三木氏ハ應永中ヨリ、世々國ノ南半ヲ
領シ、其五世ヲ久安ト云フ、美濃ノ齋藤氏ト婚ヲ
結ビ、越後ノ上杉氏ト好ヲ通ジ、遂ニ國司ヲ亡シ
テ、其姓ヲ冒シ、江馬氏ヲ滅シテ、高原郷ヲ取リ、威
ヲ近隣ニ振フ、其盛ナルニ當リテハ、甲斐ノ武田

モ、亦其志ヲ得ザルニ至ルト云フ、
藤橋、籠渡ハ有名ナル奇險ノ地ナリ、此國中ノ川
々ハ、何レモ兩岸絶壁相逼リ、底深クシテ水流ヲ
見ズ、其舟楫ニ論ナク、材木巨大ナルモ、桴筏ヲ下
ス可ハズ、故ニ往々橋航ヲ施ス可カラザル處
アリ、藤橋ハ舟津ニアリテ、高原川ニ架ク、其製ハ
藤蔓ヲ編ミテ、兩岸ノ間ニ張ル、長、三十六丈、幅、三
尺計、下ニ一柱ヲ用ヰ、其狀、一匹練ヲ半空ニ晒
スガ如シ、籠渡ハ一谷ニアリ、大繩ヲ兩岸ノ巨木
ニ繫キ、駕籠ヲ其繩ニ懸ケ、人ヲ其中ニ盛リ、更ニ

七五

細繩ヲ籠ニ結ビ、岸上ノ人互ニ引キテ以テ行人
ヲ通ズ、岸ノ相隔タル十二丈計、其中途ニ至リテ
ハ、駕籠次第ニ低下シテ、水面ヲ去ル僅ニ咫尺ニ
至ルト云フ、近來道路修繕ノ利ヲ興シ、此二處ノ
如キハ、其官道ニ當ルヲ以テ、板橋ニ改造セリ、然
レ氏白川ノ大牧等ハ、猶籠渡ヲ用ヰタリ、
信濃ハ、伊奈、諏訪、筑摩、安曇、更科、水内、高井、埴科、
小縣、佐久ノ十郡アリ、
東海、北陸兩道ノ間ニ横タル大國ニシテ、我國内
第一ノ高地ナリ、其四境ハ十國ニ接シ、南北六十

里計、東西是ニ半ス、其土地廣大ナルヲ、全國中ニ
モ多ク其比ヲ見ザレ氏、山脈環リ亘リテ、國內ヲ
分チ限リ、其間各一國ノ如キ者ヲナス、土俗其地
勢ノ平坦ナルヲ以テ、是ヲ平ト呼ズ、南ハ即其昔
諏訪國ヲ置レシ地ニテ、土人今猶國ヲ以テ是ヲ
呼ズ、西ヲ松本平ト稱シ、平坦十里ニ亘ル、北ヲ善
光寺平ト云フ、即川中島四郡ノ地ニシテ、地勢東
北ニ向ヒテ、上野越後ノ間ニ衝キ入ル、東ヲ佐久
平ト云フ、上野甲斐ノ間ニ夾ル、而テ木曾ハ別ニ
一郷タリ、

〇

和田峠ハ登降五里、山道中ノ大嶺ニシテ、其峻險
ナルヲハ、箱根碓氷ノ上ニ出ヅ、此山ヲ國ノ中央
トナシ、是ヨリ山脈分レテ三方ニ亘ル、東ニ大門
峠アリ、北ニ保福寺峠アリ、西南ヲ鹽尻峠トナス、
立科山ハ大門峠ノ上ニ峙チ、其東ヨリ八峯並列
シテ、南ニ赴ク者ハ、甲斐ニ跨ル八岳ニシテ、其脈
直ニ金峯山ニ連ル、〇駒岳ハ峯巒峻秀ニシテ、風
越山ト相並ズ、其脈ハ鹽尻峠ヨリ起リ、西南ニ亘
リテ、美濃三河ノ間ニ入ル、〇保福寺峠ハ、南ニ武
石峠アリ、北ニ室賀峠アリ、山脈ノ北端ヲ姨捨山

トナス、東面ハ千曲川ヲ隔テ、鏡臺山ト相對シテ
山峽ヲ夾ム、西陰ニ大嶺アリ、猿馬場ト云フ、群
相連リ、犀川ニ跨リテ北ニ赴キ、越中越後ノ間ニ
接ス、
全國ノ水流、兩分シテ南北ニ各流ス、諏訪木曾ハ
東海ニ注キ、其他ハ相集リテ北陸ニ入ル、犀川ハ
駒岳ニ出テ、松本平ノ中央ヲ貫キ、梓川、高瀬川ヲ
并セ、北ニ赴キテ兩山ノ峽ニ入ル數里、斷岸相逼
リ僅ニ舟行ヲ通ゼシガ、往年地震ノ時、岸崩レテ
川塞ル、近來開鑿シテ再、舊ニ復スト云フ、川流ハ

東ニ轉ジテ山間ヲ出デ、又、平地ヲ流レ、川中島ニ
至リテ千曲川ニ合フ、其流、二十里ニ及ブ、千曲ハ
又、千隈トモ云フ、源ヲ金峯山ニ發シ、山間ヲ北下
シテ平原ニ出ヅ、是ヲ佐久平トナス、西ニ赴キ小
諸上田ヲ過ギ、埴捨山ノ麓ヲ北流シ、又、東ニ轉ジ、
松代ニ至リテ直ニ北ニ流レ、犀川ニ會ス、其流、二
十五里、二川尤大ナリ、茲ニ至リ相合フテ益大ヲ
致シ、平野ノ間ヲ流ル、十里計、飯山ヲ過ギ、漸、兩
山ノ峽ニ入り、數里ニシテ大瀧ニ至ル、兩岸高ク
逼リ、河中、岩石多ク峙ツ、國境ハ大山脈、亘リ限リ

テ、河流ノ注リ可キナシ、故ニ山峽ヲ斷テ貫キテ以テ下ル、是ニ加フルニ越後ハ、地勢漸低ニ向フ、故ニ水高ヨリ注キ流レ、其勢瀑布ノ如シ、舟運ハ松代、飯山ノ間、常ニ相上下ス、近來更ニ上流ニ汜リテ上田ニ達ス、其間七八里、然レ氏僅ニ小舟ヲ通バルノミ、犀川ハ松本ヨリ既ニ其便アリテ、水程十餘里ノ遠キニ及ブト云フ、
養老五年始テ諏訪國ヲ置キ、後十年舊ニ復ス、此地ハ北ニ和田峠アリ、東ニ八岳アリ、西ハ鹽尻峠ノ山脈相連ル、中間ニ湖水アリ、周回五里、呼ブニ

郡名ヲ以テス、謂ユル諏訪湖、是ナリ、此湖ハ嚴寒ノ時ハ、冰凍リテ、人馬共ニ冰上ヲ往来ス、諏訪上下神社、又温泉ノ浴場アリ、高島城ハ、東岸ニ臨ミ、諏訪氏世々茲ニ居ル、其甲斐ニ通スルノ處ハ、地漸平坦ナリ、中間ヲ金澤トナス、武田信玄ノ兵ヲ此國ニ出ス、實ニ此路ヨリス、遂ニ諏訪氏ヲ滅シ、其女ヲ納レ、子勝頼ヲ生ム、勝頼ノ亡ブルヤ、其弟仁科信盛獨高遠城ニ據リテ遂ニ奮死ス、其城今、金澤ノ南六里ニアリ、山中ノ一邑タリ、溪流相集リテ、西ニ下リ、天龍川ニ合フ、是ヲ三峯川ト云フ、

○天龍川ハ、湖ヨリ出テ、南ニ流ル、急激直下二
 十餘里ニシテ速江ニ入ル、川ノ左右ヲ伊奈郡ト
 ナス、東南ハ甲斐、速江ノ背ニ當リ、連岳重疊シテ、
 道路通ゼザル十餘里、西北ハ駒岳、風越ノ山脈相
 連リテ、美濃ノ惠那岳ニ接ス、其西南ノ一隅、僅ニ
 山路ヲ三河ニ通ズ、河岸ノ村邑ハ飯田ヲ以テ、小
 都會トナス、是ヨリ始テ舟楫ノ利アリ、此地、峽間
 ニアレ、凡南ニ出ヅルヲ以テ、季候、最温暖ニシテ、
 春色ノ来ル、木曾、松本地方ヨリ、旬餘ヲ早クスト
 云フ、

○

木曾ハ岐蘇トモ云フ、御岳高ク聳エテ、飛彈ニ跨
 リ、其秀峻ナルヲ、殆富士山ニ亞ク、四時、冰雪アリ、
 駒岳南ニ峙チテ、其高ヲ争フ、數峯連續シテ、伊奈
 ト腹背ヲ分ツ、其兩岳ノ間ヲ木曾山中ト稱ス、東
 ハ鳥居峠ヨリ、西ハ十曲峠ニ至ル、二十一里、村里
 悉峽間ニアリ、山ニ據リ、谷ニ臨ミ、氣候寒烈ニシ
 テ、田畝少ク、米穀悉他方ヨリ輸入ス、道路ハ山腹
 ヲ繞リ、崖縁ニ懸リ、斷岸ノ處ハ、棧道ヲ設ク、近來
 是ヲ改修スト雖モ、猶峻路險仄多シ、木曾川ハ鳥
 居峠ノ北ナル萩曾ヨリ出テ、宮越、福島ヲ過シ、御

岳川ト合ヒ、水勢頗大ナリ、其流タルヤ、常ニ岩壁ニ逼ラレテ、高ヨリ低ニ注グ、河中ハ恠石、危岩、相觸レ、急激怒號シ、或ハ懸リテ瀧トナリ、或ハ洄リテ淵トナル、其間ニ寐覺床ト稱スル處アリ、一巨石、水ヲ束ネ、狹キ一丈餘、其長、五六十間、水色、藍ノ如シ、其左右ハ、岩石河中ニ横リ、實ニ山中ノ一勝地タリ、其他、小野瀑布アリ、亦奇觀トス、昔源義仲、此間ニ生長シ、兵ヲ擧グルニ及ビテ、城ヲ宮腰ニ構フ、今井樋口等諸臣ノ居跡、共ニ各地ニ存ス、義仲ノ後裔、再此地ニ據リ、木曾氏ヲ稱ス、數世ノ孫

義康ニ至リ、福島ニ居リ、其子義昌、相繼ギテ、屢武田氏ト戦ヒ、天正十年、大ニ之ヲ鳥居峠ニ破ル、抑山中ノ地ハ、元、美濃ニ屬シ、道路ノ通ゼザル處ナリシガ、和銅六年、始テ山路ヲ開キテ、兩國ノ往來ヲ通ズ、其後、百六十七年ヲ經テ、元慶三年、其國府ヲ隔ツルノ遠キヲ以テ、割キテ當國ニ屬スト云フ、然レ氏、土人、尚、別境ヲ以テ自居レリ、松本平ハ、桔梗原、其南ニ連リ、鹽尻峠ヲ以テ諏訪ニ界シ、鳥居峠ヲ以テ木曾ニ接ス、北ハ仇坂、立峠等、相重リテ猿馬場ニ連ル、松本ノ城市、其中間ニ

アリ、故ニ名ク、東西ハ五六里計、其長ハ犀川ノ西ニ跨リ、十餘里ニシテ、池田大町ノ二邑ニ及ブ、其奥ニ青木湖アリ、下流ヲ高瀬川トナス、○飛彈ノ乘鞍岳、正西ニ聳エ、山腹ニ白骨ノ温泉アリ、即梓川ノ源ナリ、穗高神明ノ諸岳ハ、笠岳、槍岳ト相並ブ、其西北ノ隅ニ當リテ、一高峯アリ、高ク連岳ノ上ニ秀ヅ、是ヲ越中ノ立山トナス、○此平ハ田野開ケテ村里相連レ、西境ノ連山、常ニ風雪ヲ吹キ、寒氣ノ烈レキハ、木曾飛彈ニ減ゼズ、松本ハ一方ノ都會ニシテ、人烟繁盛ナルヲ、國中ノ第一ト

リ、此城、元、深志ト呼ブ、正東ニ冠岳ヲ負ヒ、其陰ヲ保福寺峠トナス、西ニ犀川ヲ帶ビ、行舟常ニ下流ニ通ズ、小笠原氏、世々茲ニ居リ、武田氏ト敵國トナリ、常ニ戦闘アリ、天文中、鹽尻峠ノ敗レヨリ、後、又、桔梗原ニ迎ヘ戦フテ、兵潰エ城陥リ、舉族悉逃レテ越後ニ落チ延ビタリ、

善光寺ハ、有名ノ佛閣ナルヲ以テ、此地ノ總稱ナリ、地形平坦ニシテ、四方共ニ七八里ニ亘ル、國中ノ沃土ナリ、犀川、千曲川相合フテ、川道三叉ヲナス、故ニ川中島ト云フ、其地勢信濃、越後ノ中間ニ

アリ、壽永中、木曾義仲、城長茂ヲ茲ニ敗ル、其後村
上氏、葛尾城ニ居ル數世、更耕殖科以下四郡ヲ領
ス、武田氏ノ鄰傍ヲ威服スルニ當リテ、義清、支
ルノ能ハズレテ、越後ニ走ル、遂ニ武田、上杉ニ氏
ノ戰端トナリテ、互ニ四郡ノ地ヲ争フ數十戰、其
最大ナル者五田、是ヲ川中島ノ五戰ト稱ス、○葛
尾ノ城址ハ、松代ノ南ニアリ、其山ハ鏡臺山ト相
並ビ、其後ヲ地藏峠トナス、其脈連續シテ、東ニ亘
リ、四阿、白峯ノ連山トナリテ、北ニ赴キ、上野ノ境
ヲ限ル、山間ニ米子、神湍ノ瀑布アリ、又山田、角間

○
ノ温泉アリ、澀湯尤顯ル、○戸隱山ハ一方ノ高山
ナリ、飯綱、黒姫ノ諸山、其東ニ峙チ、大日、藥師ノ衆
岳、其西ニ秀テ、北陰ハ越後ノ妙高山、焼山ト相接
ス、黒姫ノ山麓ニ野尻沼アリ、其水北ニ流レテ越
後ニ入り、關川ニ合フ、其他ノ溪流ハ、悉川、中島ニ
會ス、○燒捨山ハ平野ノ正南ニ當リ、冠着ノ諸山
ト相並ブ、此山ハ看月ノ名所ニシテ、謂ユル更科
田、毎ノ月ト稱スル者、其中秋ノ望夜ニ至リテ、新
月、恰鏡臺山ノ巔ニ出ヅ、因テ此名アリ、
淺間岳ハ、有名ノ噴火山ニシテ、其名尤著シ、古ヨ

リ富士山ト並稱ス、其峯ハ上野ノ境ニ峙チ、山頂
常ニ硫烟ヲ出シ、又時トシテハ、山火ヲ吐キ、灰石
ヲ飛バス、トアリ、故ニ山麓數里ノ地ハ、悉赤土ニ
シテ、田畝ナク、樹木ナシ、是ヲ淺間ノ燒野ト云フ、
廣原、其南ニ連リ、四方四五里ノ間ニ亘ル者ヲ佐
久平ト呼ブ、西ハ千曲川ノ左右ニ沿ヒ、上田ニ達
ス、其間モ亦平坦ニシテ、上田原ハ、即村上義清ノ
敗績セシ處ナリ、上田ハ一都會ノ地ニシテ、北國
ノ品物、多ク聚ル、北境ハ淺間ノ山脈、相連リ、烏帽
子岳、其中ニ聳エ、西端ハ地藏峠ニ接シ、上田、松代

兩地ノ間ヲ限ル、西ハ立科、和田ノ諸山ニ包レハ
岳、其南ニ列リ、甲斐ノ境ハ、群山重疊スル十里、金
峯最高シ、其脈直ニ秩父山ニ接ス、此山々ハ、即海
山、兩道ノ中間ニ亘ル山脈ハ、由テ起ル所ナリ、蓋
淺間ノ山脈、而ニ走ル者、碓氷、荒船ノ諸山ニシテ、
上野ノ境ニ連リテ、關東ノ西隅ヲ限ル、甲武上、信
ノ界ハ、其集リ重ル處ニシテ、其直行スル者ハ、富
士山ニ接シ、折レテ西ニ赴ク者ハ、甲斐ヲ包ミテ、
駿遠參ノ北境ヲ限ル者トス、

上野ハ十四郡、利根、吾妻、碓氷、甘樂、片岡、多胡、緑

野群馬勢多山田名和佐位新田邑樂是ナリ、
 古ハ毛野ト稱シ、下野ト一國ニシテ、共ニ關東ニ
 屬ス、此國ハ八州ノ西北隅ニ居レバ、國境ハ深山
 重嶺ヲ負フト雖凡、東南ニ亘リテハ、地勢平坦ニ
 シテ、直ニ武藏下總下野ニ接シ、河流ノ外、復、境界
 ナシ、○赤城、榛名ノ兩山、相並ビテ、國ノ中央ニ聳
 エ、各南向シテ、屹然對立ス、是ヲ山野ノ限トナス、
 赤城山ハ、山勢頗高キモ、甚峻絶ナラス、南麓平ニ
 延ビ、其間、三里計、山頂ヲ地藏峠ト云フ、榛名山ハ、
 其西ニ峙チテ、別ニ一山ヲナス、數峯相重リ、其高

キ者ヲ相馬山ト云フ、山上ニ小湖アリ、其傍ハ奇
 石惟巖多ク峙チ、西溪ノ峽、最奇ナリ、○兩山ノ陰
 ハ、利根、吾妻ノ二郡ニシテ、東ハ下野ノ黒髮山、庚
 申山ノ背ニ當リ、北ハ烏帽子岳、文珠山、駒岳等ノ
 諸岳相連ル、其間ニ尾瀨沼アリ、是ヲ岩代ノ境ト
 ナス、蓋、奥羽ノ間ヲ亘リ來ル大山脈、此際ヨリ折
 レテ、西ニ赴ク、故ニ峯巒殊ニ重疊セリ、利根川、實
 ニ源ヲ此中ニ發ス、山脈ノ中ニ三國峠アリ、其頂
 越後、信濃ニ跨ル、故ニ此名アリ、其路險シキト數
 里ナレバ、北國ノ官道タルヲ以テ、人馬常ニ往來

ス、雪中ハ往々、行路ヲ絶ツニ至ルト云フ、西ハ信濃ニ包レテ、白根、吾妻ノ諸山相限ルハ、四阿、白峯ト同名異字ノ之、吾妻川ハ萬座、地藏山田ノ諸水ヲ集メ、山谷ノ間ヲ東ニ下ル、利根川ノ一源タリ、村里、悉川岸ニアリ、其淺間山ノ北陰ナルヲ以テ、温泉、甚多ク、草津最盛ナリ、四萬殊ニ良泉タリ、其他、澤渡、河原等アリ、榛名ノ北麓ナル伊香保モ亦良湯タリ、利根川ハ、文珠山ニ出ヅル者ヲ正源トナス、重山ノ峽間ヲ南ニ下リ、赤谷川ヲ并セ、沼田ニ至リ又

片科川ヲ并ス、兩岸高ク迫リ、屈曲環流シテ、水勢急激ナリ、漸下リテ白井ニ至リ、吾妻川ニ合フテ其流頗大ナリ、且此地ハ、榛名、赤城兩山ノ麓、互ニ絶ユル處ニシテ、是ヨリ山圍始テ解ケ、前橋ヲ過ギ直ニ平野ノ間ヲ貫キ、南ニ下リテ、武藏ノ境ヲ衝ク、烏川、西ヨリ来リ會シ、共ニ折レテ東ニ赴キ、川流益大ナリ、國境ヲ限リ流ル、一十餘里ニシテ、下總ノ境ニ至リ、渡瀨川ニ合フテ、遂ニ兩國ノ間ニ入ル、源ヨリ茲ニ至ル凡三十里、是ヲ上利根川ト云フ、○白井ハ上杉憲實ノ城趾ナリ、其足利

氏ニ代リテ、關東管領タルヤ、數世相傳ヘテ憲政ニ至ル、北條氏ニ攻メ陷レテ、越後ニ走り、長尾氏ノ助ヲ得テ、厩橋等數城ヲ復スレ、遂ニ敗亡シテ、地武田氏ニ屬ス、徳川氏ノ甲斐、信濃ヲ得ルニ及ビテ、關東ヲ以テ、北條氏ニ付シ、互ニ其侵地ヲ返ス、獨、真田昌幸、沼田ヲ守リテ肯セズ、其地タルヤ、八州第一ノ險要ニシテ、攻守三年、遂ニ抜クヲ能ハズト云フ、
妙義山、又、白雲山ト云フ、金洞、金雞ノ二山ト相並ビテ、平野ノ正西ニ聳エタリ、三山悉、岩石ニシテ、

蠟燭岩、大日峯等ノ奇絶ナルヲ、殆、名狀スベカラズ、中ニモ金洞ノ石門ノ如キ、大小四箇、最、奇觀タリ、山後、又、一奇山アリ、其形ヲ以テ荒船ト呼ブ、其山ハ國境ニ亘リ、南ニ赴キ、信濃、武藏ノ重山中ニ入ル、其隅ヲ三國山ト云フ、○碓氷峠、嶮峻三里、信濃ニ跨リ、淺間岳ノ脈ヲ承ケテ、南ハ荒船山ニ連ル、此山ハ箱根山ト共ニ、海、山、兩道ノ要路ニシテ、亦、坂東ノ稱ノ起ル所ナリ、碓氷川ハ山中ヨリ出テ、其瀨淺クシテ、流、頗、急ナリ、妙義山ノ北麓ヲ東下シ、安中ヲ過ギ、郡中ノ水ヲ集メ、高崎ニ至リテ

烏川ニ入ル、蕪川神流川、共ニ甘樂ノ轉稱ニシテ、
其源ヲ西境連山ニ發シ、各郡中ノ溪流ヲ分チ并
セテ、東ニ流レ亦、烏川ニ入ル、蕪川ハ富岡ヲ過ギ
テ、行舟ノ利アリ、神流ハ武藏ノ境ニ沿フテ流ル、
平時ハ水流ニ乏シク、雨後ノ水路ナルノミ、一帯
ノ長岡、妙義山ノ麓ヨリ起リテ、東ニ連ル六七里、
西郡ノ界ヲ亘リ、高崎ノ南ニ至リテ盡ク、是ヲ横
野原ト云フ、高崎ハ繁盛ナル城市ニシテ、前橋ト
相隔ツル六里、各一都會ヲナス、前橋ハ、即、甌橋ノ
改稱ニ係レリ、

烏川モ亦、利根川ノ一源ナリ、碓氷山ノ北ヨリ米
ノ高崎ノ東ニ至リ、始テ舟楫ヲ通ズ、東南ニ流レ、
新町五科ヲ過グ、是ヲ國境トナス、○渡瀨川ハ、康
申山ノ前面ヨリ来リ、西南ニ下リ、坂東川ト云フ、
山谷ヲ環流シ、桐生川ヲ并セテ、東ニ轉ジ、分レテ
二派トナリ、本流ハ下野ニ入ル、支流、再、分レ、一ハ
南下シテ、直ニ利根川ニ入リ、一ハ國境ニ沿ヒテ、
又、本流ト合ヒ、南ニ環リ、下總ノ境ヲ流ル、故ニ界
川ト云フ、此川ハ、佐野中川ト稱シ、毛野ヲ分國ス
ル時ニ、其上下ノ界ヲ定ムル者ニシテ、亦、利根川

源流ノ一タリ、
太田、館林ノ地ハ、國ノ東南隅ニシテ、渡瀬、利根ノ
河間ニ夾リ、地勢狹長、且、卑濕ノ處、沼澤多シ、多田
良沼、板倉沼等アリ、館林モ亦、一都會ニシテ、太田
ハ、新田義貞ノ義旗ヲ揚グル處ナリ、城跡、今猶存
シテ、金山ト云フ、抑、此國ハ、養蠶ノ業、特ニ盛ナリ、
郡村ノ間、桑田相連ル、近来、富岡ニ製絲場ヲ構ヘ、
新ニ器械ヲ備ヘテ、其業極テ盛大ヲ盡ス、而テ桐
生ハ、織物ヲ出ス、歳月已ニ久シ、上州織ノ著名
ナルハ、實ニ此地ヲ以テナリ、

下野ハ、足利、梁田、安蘇、都賀、寒川、河内、芳賀、鹽谷、
那須ノ九郡ナリ、

西北ハ、連岳重立シテ、國境ニ峙ツ、東ニ高原アリ、
南ニ平野アリ、高原ノ水ハ、集リテ東流ス、常陸ノ
中川、是ナリ、平野ノ水ハ、悉、南ニ流ル、宇津宮、其中
央ニ當リ、東ハ、絹川、是ヲ并セテ、常陸、下總ノ間ニ
入り、末ハ、利根川ニ會ス、亦、其、一源ナリ、思川ハ、以
西ノ數流ト合ヒ、上野ノ境ニ至リ、渡瀬川ニ入ル、
黒髮山、高ク聳エテ、連岳ノ中位ニ秀デタリ、是ヲ
男體山ト云フ、白根山、其西ニ峙ツ、是ヲ女體山ト

ナス、其他、大真子、小真子ノ諸山相重リテ、後陰ハ
岩代、上野ニ跨レリ、山中ハ湖沼、瀑布、各數十アリ、
共ニ奇景勝地ニシテ、湖ノ大ナル者ハ、長、三里、幅
ハ是ニ半ス、中禪寺湖ト呼バ、其水南ニ決シテ、華
嚴瀧トナル、飛流、七十五丈、其雄壯ナルヲ、瀑布中
ノ冠トシ、下流ヲ大谷川ト云フ、龍頭、裏見、霧降、索
麴等ノ瀑布、是ニ次ク、赤沼アリ、温泉、其傍ニ出ツ、
五色沼アリ、五箇、水色ヲ異ニス、○山麓ヲ日光ト
ナス、東照神社ノアル處ニシテ、廬祠ノ結構ハ、金
碧焜耀、實ニ天下ノ美麗ヲ極メタリ、大谷川ヲ隔

テ、街市アリ、鉢石ト云フ、宇津宮ト相距ル大道
九里、行杉老鬱ナル、亦行路ノ一美觀タリ、○庚申
山ハ、白根ノ右ニ立チ、南ニ足尾銅山アリ、東ニ古
峯原アリ、深山中ノ岩山ニシテ、石橋、洞門等ノ奇
ナルヲ、殆妙義、榛名ノ上ニ出ツ、重山一帶、其南ニ
連リテ、上野ノ境ニ亘ル者ヲ、總稱シテ安蘇山ト
云フ、其脈、盡クル處ヲ足利トナス、即高氏ノ郷土
ニシテ、此地、古ヨリ學校アリ、相傳フ、小野篁ノ設
クル處ト、其後、上杉憲實、書籍ヲ納レ、土田ヲ置キ、
以テ生徒ヲ養フ、今猶存ス、此地方ハ、上野ノ太田

館林ト相接シ、渡瀬川、西ヨリ来リ、兩派トナリ其
間ニ分流ス、

那須岳ハ、五峯屏列シテ、南ニ向ヒ、其背ヲ岩代ト
ナス、鹽原山、其西ニ峙チ、相並ビテ以テ高原ノ北
ニ連ル、而テ東ヲ限ル者ハ、八溝山、磐城ノ隅ニ立
チ、其脈、南ニ亘リテ、鳥子、雞足ノ兩山ニ連リ、常陸
ノ境ヲ限リ、佛頂山ニ至リテ盡ク、○高原ハ、那須
野、鹽谷原ノ二野ニ分レ、相連リテ四方、十餘里ニ
亘ル、大率、荒蕪シテ、開墾ヲ得ルノ處甚稀ナリ、且、
寒風烈シク、道路、高低多ク、其官道ニ當ル處ハ、南

ハ氏家ヨリ北境ニ至ルマテ、行程十三里、其間ニ
十三坂アリト云フ、其間ニ大田原、黒羽、烏山、又、佐
久山、喜連川等ノ城邑アリ、又、那須、鹽原、共ニ温泉
アリテ、来リ浴スル者、常ニ多シ、那須ハ舊地ニシ
テ殊ニ盛ナリ、鹽原ヨリ西南ニ續キタル峯ヲ、高
原山ト云フ、中川、絹川ハ此山ヲ以テ左右ニ分レ
流ル、群山、其西ニ重リテ、黒髮山ニ接ス、○箒川ハ
母来トモ云フ、鹽原山中ヨリ来リ、佐久山ノ北ヲ
流ル、佐比川ハ源ヲ山陰ニ發シ、大田原ヲ過ク、二
川相合フテ東ニ赴キ、中川ニ入ル、中川ハ源流ヲ

那須川トナス、岳ヨリ出デ、余笹川、黒川ヲ并セ、
黒羽ヲ過ギ、南ニ下リ、常川ト合フテ、水勢漸、大ナ
リ、烏山ニ至リ、狐川ヲ并ス、是ヨリ始テ舟運アリ
鳥子、雞足兩山ノ峽間ヲ貫キ出ヅ、中川ハ即、那珂
川ナリ、

宇津宮ハ奥羽、關東ノ要路ニ當リ、城市ノ繁盛ナ
ルヲ、東京以北ノ大都會タリ土人ハ宮トノミ唱
フ、此地ハ宇津宮氏、世々、茲ニ居リ、足利氏ノ時、那
須、小山二氏、及、常陸ノ佐竹氏、下總ノ千葉、結城兩
氏等ト、共ニ關東ハ館ト稱セリ、○絹川ハ高原山

ノ奥ヨリ来リ、大谷川ヲ并セ、其流頗、急駿ナリ、阿
久津ニ至リ、始テ舟運アリ、此川ハ長流三十里、其
當國第一ノ川ナレバ、古ハ毛野川ト云ヒレトゾ、
田川ハ宮ノ市中ヲ流レ、下總ノ境ニ入り相會ス、
別ニ小貝川アリ、佛頂山ヨリ出テ、西ニ流ル、五行
川氏家ノ北ヨリ来リ、真岡ヲ過キテ、相共ニ常陸
ニ入ル、是ヲ平野ノ東境トナス、思川ハ、上流ヲ小
倉川ト云フ、古峯原ニ出テ、壬生ニテ黒川ヲ并セ、
稍下リ、姿川ニ合ヒ、小山ヲ過キ、出流山ヨリ出ツ
ル、出流澤及、赤間沼ノ下流ト相合フ、是ヲ國境ト

ナス、○出流山ハ、太平岩船ノ諸山ト、安蘇山ノ前
面ニ列リテ、平野ノ西境ニ並ブ、是ヨリ東南ハ、地
勢下總ト相交リ、直ニ八州ノ平野ニ連リ、遠望數
十里、渺トシテ其際ヲ見ズ、坂東太郎、其間ニ横流
シ、正東ハ筑波ノ雙峯、空濶ノ間ニ聳エタリ、
近江晒美濃紙、國名ヲ以テ是ヲ呼ブ、其品ノ良ニ
シテ、其業ノ盛ナル可キナリ、晒布ハ、野洲河
原ニ於テ製造スル者、最夥シ、紙ハ、其品十八種アリ、
牧川、敷川等、上流沿岸ノ地ハ、村里皆是ヲ業ト
ス、琵琶湖ノ産ハ、源五郎鮒ヲ第一トナス、鯉ハ、勢

多川ヲ良品ト稱ス、野洲川ノ鮠魚モ世ノ賞羨ス
ル處タリ、信樂ノ茶ハ、宇治ト并稱ス、又、陶器ヲ製
造シテ、古來名品ノ稱アリ、政所土山モ、亦多ク茶
ヲ産ス、其他、高宮生平、八幡蚊屋、沖島疊表、高島硯
伊吹艾、大津算盤、水口細工等、共ニ有用ノ佳品タ
リ、而テ長濱ノ縮緬、其家善羨ナル者、世ニ濱縮緬
ト呼ブ、羽二重、天鷲絨モ、此地ノ良品タリ、美濃ハ、
米、紙ノ外、其品盛大ナラズ、岐阜絹、曾代糸、實ニ其
中ノ良タリ、金生山ノ更紗蠟石ハ、燈籠水盤ノ大
香合、印籠ノ細各種ノ製造アリ、關ノ良劍ヲ鍛冶

スルハ世ノ普ク知ル所ニシテ、真桑瓜、蜂屋材、養老酒、土岐焼、干大根等、其名亦高シ長柄川ノ鮎其大尺ニ過グ、下流ハ、合渡ノ鱒、洲股ノ鯉共ニ美味タリ、飛彈ハ材木、獸皮、其有益ナル者ナリ、金、及銅鉛、其利用アル者ナリ、硫黄炭酸礬石ハ、其良能ナル者ナリ、蠟、漆、茶紙モ亦其必用ナル者ナリ、高山ノ櫛細工ハ、即位山産スル所而テ養蠶ノ業ハ、白川郷ヲ最盛ナル者トナス、諏訪平、飯田、梶、松本、綾上、田、縞、仁科、冰餅等、信濃ノ名産ナリ、上田、松代地方ハ、養蠶尤盛ニシテ、生糸中ノ最上品ヲ産ス、種

紙、真綿ノ製、白七子、白紬ノ織物等アリ、其蕎麥ノ美ナルハ、諸方ノ共ニ賞味スル所ナリ、石腦油、石綿等、近來發見スル者多シ、木曾山中ハ、飛彈ニ接シ、獸皮、材木ヲ出ス、最檜材ニ富ム、乾栗、串柿、干瓢、岩茸等ハ、即位山國ノ産ニシテ、各湖諸川ノ産スル、鯉、鮎、鮭、鱒ハ又、海ナキ國ノ生鮮タリ、兩野ハ地勢其趣ヲ異ニシ、平野遠ク開クレド、山間ハ、温泉多クシテ、硫黄、明礬ヲ出ス、足尾ノ銅、草津ノ石炭、沼田、那須ハ、多ク烟草ヲ植ウ、日光ノ蠟石、人參、及漆器、蕃椒、悉山谷ノ産物タリ、那須ノ大方紙、荒野ノ

佳品ニテ、野州麻ト稱スル者ハ、椽木近方ヲ良ト
ス、足利ノ木綿、伊勢崎ノ太織縞、共ニ良産ナレド、
真岡木綿ハ、精美ヲ極ムルニ及バズ、而テ、桐生ノ
織物、實ニ盛大ニレテ、武蔵ノ八王子、五日市ト相
對スレド、縮緬、綾、錦、絁、縹、精好ノ諸品、獨、此地ヲ推
ス、故ニ平野ノ間ハ、桑田相望ミ、村々蠶桑ノ業ニ
就カザル者ナシ、富岡ノ製糸場、實ニ壯大ナルヲ
極ム、其上州織ノ名、殆、全國ニ冠タルハ、事、真ニ虚
シカラザルナリ、

奥羽全圖

欠

MISSING

奥羽

明治元年十二月、詔シテ曰、奥羽兩國ハ、曠漠僻遠ノ地ニシテ、古ヨリ、教化洽リ敷キ及シ難シ、今陸奥ヲ磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥ノ五國ニ出羽ヲ羽前、羽後ノ二國ニ分國シ、厚ク風俗移易、人民撫育ノ道ヲ盡サントス、蓋其地ハ、東西ニ海ヲ受ケ、北端ハ、兩岬並出テ、一ノ内海ヲ抱キテ、北海道ト海峡ヲ夾ム、中央ハ、大山脈相列リ、最北ヨリ起リ、直ニ南ニ亘リテ、陸羽ノ分界ヲ為シ、西ニ折レ、越後ノ境ニ傍トテ、又南ニ赴キ、再、西ニ亘リテ、北陸

中山、兩道ノ間ニ入ル、即、全國ノ脊梁ニシテ、高山、大岳、相並ヒ、其形、馬鬣ノ如クニシテ、地勢ヲ左右ニ別チタリ、且、悉、火山ノ脈ニ當リ、其麓ニハ温泉多ク出ツ、時ニ或ハ山火ヲ噴キ、灰石ヲ飛スノ害アリ、云フ、磐城、陸前、陸中ノ三國ハ、東海ニ向フ、即、太平洋ニシテ、其海岸、二百二十里、中央ニ牡鹿ノ岬、突出シテ、其端ヲ金花山トナス、羽前、羽後ハ、西ニ臨ミテ、日本海ノ東ヲ限ル、其沿海ノ里程ハ、東岸ノ半ニ及フ、男鹿島ハ、其中間ニ出ツル一出島ニシテ、寒風山、峙チタリ、陸奥ハ、兩地ノ端ニ當

リ、三面、海ヲ受ケテ、地勢、兩斷ス、磐城ハ、海岸ニ沿フテ、常陸ニ界シ、岩代ハ、山脈ニ包レテ、上野、下野ニ接ス、共ニ關東ノ西北ヲ限レリ、○抑、此地ハ、上世ヨリ、蝦夷ノ巢窟ニシテ、三陸ノ地ニ居ル者ヲ、奥蝦夷ト云ヒ、兩羽ノ間ニ在ル者ヲ、越蝦夷ト呼フ、而テ二岩ノ地ハ、早ク王化ニ屬ス、蓋、景行帝ノ時、御諸、別王、東山、道都督トナリ、蝦夷ノ亂ヲ討ス、酋帥等、恐レ、悉、其地ヲ獻ス、成務帝、其地ニ就キテ、國造ヲ定ム、中世ニ至リテ、石城、石背ノ二國ヲ置ク、即、其地ナリ、元明帝、大ニ軍ヲ興シテ、奥越ノ二

夷ヲ征シ、始テ出羽國ヲ建ツ、是ヨリ其後、征討ヲ
事トスルヲ、大率、虚歲ナク、桓武帝、征夷ノ武略ヲ
奮ヒ、田村麻呂ヲ用ヰテ、誅伐多年、悉是ヲ海島ニ
追ヒ、境土ヲ開キテ、海ノ盡頭ニ至ル迄、凡一百年、
其間、夷地ヲ得レハ、城ヲ築キ、柵ヲ造リ、兵ヲ置キ
テ、以テ是ニ備フ、其全ク服従スルニ及ヒテ、一郡
トナス、然レ氏、或ハ叛キテ、夷地トナリ、又服レテ、
郡ヲ建ツ、國司ハ、專其貢賦ヲ司リ、將軍常ニ屯レ
テ、其叛亂ヲ鎮壓ス、故ニ國ヲ置キテ以テ、其郡ヲ
統フルヲ能ハス、遂ニ此絶大ノ一國ヲナス、延喜

ノ時ニ、陸ニ三十六郡アリ、羽ハ十二郡タリ、而テ
今ノ陸奥ノ地ハ、糠部、津輕ノ二部タリ、其後、安倍
賴時父子、俘囚ヲ以テ、陸奥ノ衣川、厨川、鳥海等ノ
諸城ニ據リ、南ハ白河關ヲ界トシ、北ハ率土濱ニ
至リ、郡郷ヲ横領ス、源賴義、討勞數年、遂ニ誅滅ニ
就ク、是ヲ前九年ノ役ト云フ、此役ヤ出羽ノ夷囚、
清原武則、戦功アリ、仍テ大ニ郷土ヲ占ム、其後子
姪相攻メ、武衡家、衡共ニ出羽ノ金澤城ニ據ル、賴
義子義家、邦人藤原清衡等ヲ率ヰテ、是ヲ平ク、後
三年ノ役是ナリ、既ニレテ、清衡家ヲ興シ、安倍清

原二氏ノ舊規ニ依リ、平泉ニ居テ、兩國ヲ兼并ス
ル、四世九十餘年、泰衡ニ至リ、源賴朝追討シテ、
是ヲ亡シ、其地ヲ以テ、葛西葦名、伊達ノ數氏ニ分
チ與フ、世呼ヒテ、奥州征伐ト云ク、足利氏ノ時、更
ニ大崎氏、斯波氏、最上氏ヲ封ス、其後興亡相繼キ、
地大ニ、兵強キ者六七氏、以テ近時ニ至ル、故ニ土
地ノ稱呼ハ、其所領ノ主氏ニ因リテ、各地方ノ唱
アリ、仙道七郡、庄内三郡ノ如キハ、其地ノ形勢ニ
依リ、會津、岩城、最上、秋田ハ、其郡名ヲ以テス、南部
相馬ハ、祖先ノ舊地名タリ、葛西七郡、大崎五郡ハ、

其姓ニ用中、而テ仙臺、米澤ハ、其城地ノ名ニ就キ
テ、其領スル處ノ總稱トス、

岩代ハ、九郡ニシテ、會津、耶摩、大沼、河沼、岩瀬、安
積、安達、信夫、伊達ト云フ、

養老二年、陸奥ノ白河、石背、會津、安積、信夫ノ五郡
ヲ割キテ、石背國ヲ置ク、天平十三年、廢シテ陸奥
ニ并ス、明治元年、其地ヲ以テ、再、此國ヲ建ツ、而テ
白河ヲ磐城ニ屬セリ、○會津分レテ、耶摩、大沼、河
沼ノ四郡トナル、安達ハ安積ヨリ分レ、伊達ハ信
夫ノ分郡ニシテ、岩瀬ハ即、石背ナリ、其白河、石川

ト相連リテ、仙道ト云フ、仙道ハ山道ナリ、
會津ハ、尚、四郡ノ總稱ナリ、其四面ハ、悉、深山重嶺
ニシテ、内地モ、亦、平地少シ、北ハ羽前ニ、西ハ越後
ニ圍マレ、東ハ一帶ノ連山、仙道ノ分界ニ亘レリ、
吾妻山ハ、東、西、兩山アリ、大山脈ノ陸羽ノ分界ヨ
リ、西ニ折ル、者、此山、其角ニ當レリ、其陰ヲ羽前
ノ米澤トナス、檜原峠、赤崩山等、相並ヒテ、羽越ノ
間ニ接ス、飯豊山、特ニ高峻ニシテ、重山ノ上ニ秀
ツ、其峯ハ、大山脈ノ、再南ニ赴ク處ノ隅ニシテ、是
ヨリハ、峯巒屏立シテ、東北ノ兩道ヲ限ル、御神樂

岳、鬼面山等、其中ニ峙クタリ、山間ノ坂路、北國ハ
通スル者、六十里越、八十里越ト云フ、而テ鳥居峠
ヲ、正路トナシ、津川ヲ經テ、新潟ニ達ス可シ、其仙
道ト、相往來スル路、中山峠、勢至堂峠アレバ、他三
面ニ比スレハ、稍、重峻ナラス、南方ハ、重山十餘里、
山間ノ街市ヲ、田島ト云フ、其南ニ鶴沼アリ、總テ
山谷ノ間ハ、銀、銅、鐵ノ諸礦山アリ、且、多ク蠟、漆、樹
ヲ植エテ、製造甚盛ナリ、其南隅ナル甲子山、朝日
山ハ、那須岳ト、腹背ヲナス、下野ニ出ツル處ハ、高
原、鹽原、兩山ノ陰ヲ、藤原越ト云フ、直ニ日光ニ達

ス、上野ノ境ニ尾瀨沼アリ、其水流レ出テ、越後ノ境ニ沿フテ、北ニ下ル、只見川ト云フ、溪谷ノ間ヲ屈曲シテ、西ニ環リ、鶴沼、日橋ノ両川ニ會シ、揚川ト云ヒ、津川ヲ過キテ、末ハ北海ニ入ル、是ヲ阿賀川トナス、○若松ハ、東方ノ一大要地タリ、元、黒川ト稱シ、葦名氏世々ノ居城ナリシガ、天正中、伊達氏ノ為ニ亡サル、豊太閤更ニ蒲生氏郷ヲ封シテ、東北ヲ鎮制シ、更ニ城郭ヲ大ニシ、始テ若松ト號ス、後、上杉氏ニ賜フ、其亂ヲ為スニ及ヒテ、徳川氏はヲ米澤ニ遷シ、後、數氏ノ變遷アリ、最後、松平正

之ヲ封シ、蒲生氏ノ舊規ニ依ラレムト云ス、○若松ノ近地ハ、稍平坦ニシテ、東山、天寧寺ノ温泉ハ、繁華ナル處タリ、大鹽ニ、鹽井アリテ、陸鹽ヲ製ス、城北ニ湖水アリ、東西四里、其幅、是ニ半ス、下流ハ即、日橋川ナリ、湖北岸ニ猪苗代城アリ、故ニ湖モ亦、其名ヲ同クス、磐梯山、其上ニ峙チ、其形富士ニ似タリ、古、會津山ト唱フルモノ是ナリ、安達太郎山ハ、二本松岳ト云フ、吾妻山ノ南ニ聳エ、高峻相次ク、共ニ火山ニシテ、山中ニ温泉アリ、岳湯ト呼フ、布引山、其脈ヲ承ケテ中山、勢至堂、兩

峠ノ間ニ立チテ、甲子、朝日ノ諸山ニ連ル、山陰ハ、即會津ニシテ、山陽ヲ、仙道トナス、逢隈川、南ヨリ来リ、其中間ヲ貫キ、東北ニ流レ、岩城ト相夾ミテ、境界相交ル、岩瀨川ハ、須賀川ヲ過キテ、東ニ流ル、其他、名女川、高倉川等アリ、皆源ヲ西山ニ發シ、悉逢隈ニ入ル、其間、鏡沼、安積山等ノ古蹟アレ、只名ノミ存ス、而テ安達原ハ、河東ノ廣野タリ、二本松ハ、畠山氏ノ居城ニシテ、須賀川ハ、二階堂氏ノ舊城地ナリ、共ニ白川、石川ノ諸氏ト、仙道ノ武族タリ、常ニ伊達氏ト敵國トナリ、悉其滅亡スル所

トナル

逢隈川ハ、阿武隈ト呼フ、源ヲ朝日山ニ發シ、東ニ下ル、白川ヲ過キ、北ニ轉シ、其流始テ大ナリ、然レ氏、河中ニ岩石多クシテ、舟楫ヲ通セズ、須賀川ノ東ニ、龍崎ノ瀧アリ、河底ノ巨岩、陷リテ、兩段トナリ、川流、懸リテ注キ、落チ、瀑布ノ狀ヲナス、其高丈餘極テ奇觀タリ、下流ハ十里計、僅ニ小舟ヲ通シ、二本松ノ大瀧ニ至リ、絶ツ、亦、河中ノ岩石、相列ル處ナリ、稍、下リテ、福島ニ至リ、水流始テ平ニ、東ニ赴キテ、岩城ニ入ル、運輸ノ便、始テ海口ニ達スル

一ヲ得タリ

伊達信夫ハ、逢隈川ヲ跨リテ、土地頗平坦ナリ、村里悉養蠶ヲ業トシ、桑田相連リ、河岸ノ地最盛ナリ、福島ハ、郡中ノ一都會ニシテ、街市頗繁盛ナリ、古大佛城ト稱シ、常ニ戰要ニ當レリ、其他梁川、保原、川股、桑折ノ街市アリ、其蠶種生糸ノ出ツルヲ以テ、各繁華ヲナス、○半田、銀山ハ、西ニ峙チ、其銀鑛ノ起、已ニ三百年ニ及フ、北ニ小坂峠アリ、南ニ板谷峠アリ、共ニ羽前ノ米澤、最上ニ往來スルノ坂路ニシテ、吾妻山、板谷ノ上ニ聳エ、中腹ニ温泉

アリ、土湯ト云フ、水流是ヨリ流レ出テ、福島ニ流レ注ク者ヲ、須川ト云フ、銀山ノ陰ニ、飯坂、湯村ノ温泉アリ、摺上川ノ上流ヲ夾ム、此地ハ、浴客常ニ多クシテ、樓舎頗盛ナリ、下流或ハ瀨上川トモ云フ、○東北ニ、篤借山アリ、磐城ノ刈田ニ接ス、奥州征伐ノ時、錦戸國衙ノ柵ヲ構ヘテ、東軍ヲ要撃スル處ニシテ、今伊達ノ大木戸ト呼ビ、溝塹ノ跡猶存セリ、○靈山ハ、銀山ト相對シテ、正東ニ峙ツ、建武中興ノ日、北畠顯家ノ城ヲ築キテ、奥羽ヲ鎮守スル處ナリ、其山頗峻絶ニシテ、磐城ヲ限ル、山脈

中ノ最大ナル者ナリ、

磐城ハ、白川、白河、石川、田村、菊多、磐城、磐前、楢葉、標葉、行方、宇多、亘理、伊具、刈田ノ十四郡アリ、此國モ、石背ト同シク、石城國ヲ建ラレシ時ハ、磐城、標葉、行方、宇多、亘理ノ五郡ニシテ、更ニ常陸ノ多賀郷ヲ割キ、菊多郡ト名ケテ、是ニ屬ス、後二十三年ニシテ、廢セラレ、復、一千一百二十八年ヲ經テ、舊ニ復シ、更ニ白河郡ヲ屬シ、別ニ東北端ニ於テ、刈田、伊具ノ二郡ヲ加フ、東ハ大洋ニ向フ、沿岸ノ地ハ、即、古ノ石城國ニシテ、仙道ニ對シテ、海道

ノ稱アリ、文治中、源賴朝ノ、藤原泰衡ヲ伐ツヤ、將士ヲシテ、兩道ヨリ兵ヲ進メ、逢隈ノ湊ニ會ヒシム、即、逢隈川ノ海口ニシテ、今、荒濱ト云フ、是ヲ國ノ東隅トナス、是ヨリ南ニ亘リテ、常陸ノ平瀨ニ至ル四十里、西ハ一帶ノ連山、兩道ノ間ヲ限ル者、脈ヲ常陸ノ境ニ起シ、御在所、三大明神、矢大臣、大瀧根ノ諸山相連リ、移岳、虎捕山、靈山等、其北ニ續キ、漸小ニシテ、地蔵峯、旗卷、峠、東光山トナリ、亘理、伊具ノ界ヲ限リ、逢隈ノ岸ニ至リテ盡ク、其山ト海トノ間ハ、廣處十里ニ及ヒ、狹處四五里ニ過キ

ス、是ヲ大別シテ、南ヲ磐城ト總稱シ、北ヲ相馬ト
呼ス、
磐城、今レテ、磐前、楢葉ノ三郡トナリ、菊多郡ヲ并
セテ、磐城四郡ト云フ、平城ハ、岩城氏世々ノ居城
ナリシ故ニ、街市猶小都會ヲナス、城外ニ長橋アリ、
昔、藤原清衡ノ女、岩城氏ニ嫁スル者、老後、德尼
ト云フ、實ニ此橋ヲ創造ス、故ニ尼子橋ト呼フ、其
製、平田ノ上ニ架ク、蓋、洪水ノ為ニ豫設クル者ト
ス、○南ニ泉城アリ、兩城ノ近地ハ、頗平坦ニシテ、
其間ニ温泉アリ、湯本ト云フ、古ノ三箱御湯ト呼

フ者、是ナリト云フ、湯岳、赤井岳相並ヒテ、其西ニ
峙ツ、赤井ハ、毎夜、燐火アリ、土人、是ヲ龍燈ト云フ、
其後ハ、御在所野大臣ノ諸山ニ接ス、山間多ク石
炭ヲ出ス、鎌田川、鮫川、源ヲ山中ニ發シ、各東流シ
テ、海ニ入ル、海濱ハ、鹽尾崎出テ、中作、小名濱ノ
二港ヲナス、サレト、灣小ニシテ、大船ヲ着クルト
能ハス、崎ノ北濱ヲ、四倉ト云フ、魚鹽ノ利ハ、近郡
ニ冠ツリ、是ヨリ北ノ海岸ハ、或ハ絶壁數丈、或ハ
岩礁亂立、其間、沙路、坂路、高低相連リテ、遠ク相馬
領ニ亘レリ、

相馬ハ郡郷ノ名ニ非ス、相馬氏世々、標葉行方、宇
多ノ三郡ヲ領ス、故ニ此地ノ總稱タリ、今ノ城市
ヲ中村ト云フ、頗繁盛ニシテ、原釜ノ湊ヲ隔ツ、僅
ニ一里、故ニ運漕ノ便アリ、鶺尾崎湊ヲ擁シテ、灣
ヲナセトモ、亦小ニシテ、碇泊ノ便ニ乏シ、郡中ハ
田野開ケ、道路整ヒタリ、原町ニ牧場アリ、野馬數
百匹ヲ畜フ、然レ氏妙見ノ神使ト稱シテ、是ヲ用
井ザリシト云フ、此地ハ、東海西山ノ間、甚近クシ
テ、川流大ナラス、宇多川、鹿島川等アレト、共ニ細
流ナルノミ、

白河ハ、岩代ト接シテ、仙道中ノ一郡タリ、永祿天
正ノ間、豪族ノ土地ヲ占メ、城郭ヲ構フル者ハ、各
其所領ヲ以テ、私ニ建テ、一郡トナス、白川、石川
ハ、即本郡ヲ分チタル者ニシテ、田村ハ、安積郡ノ
逢隈河東ノ地ナリ、今皆公ノ一郡トナル、白川城
ハ、白河郡ニシテ、下野ニ接シ、桐倉城ハ、白川郡ニ
シテ、常陸ニ接ス、兩國ノ境ニ、八溝山、高ク聳エタ
リ、白川ノ諸水ハ、悉集リテ、南ニ流ル、是ヲ久慈川
ノ上流トナス、其他三郡ハ、逢隈川ニ沿ヒ、衆水悉
注キ入ル、大率、細流ナルノミ、○白河關ハ、勿來關

ト、其一昔時關門ヲ建テ、海山兩道ノ要口ヲ扼
スル處ナリ、兩地共ニ其趾ヲ存ス、白河ハ地勢甚
險ナラス、而テ勿來ノ地タルヤ、八溝ノ山脈、東ニ
走リテ、大向山トナリ、直ニ東洋ノ岸ニ至リテ盡
ク、關ヲ其處ニ築キシカ、古道既ニ廢絶シテ、今ハ
山腹ヲ穿チ鑿リテ、僅ニ一路ヲ通ス、尚要害ノ地
ナリ、關下ハ、菊田濱、九面濱等相連リテ、平瀉ニ接
ス。

石川氏ハ、石川郷ニ據リ、田村氏ハ、田村莊ヲ領ス、
白川結城氏及ニ階堂島山ノ諸氏ト共ニ、伊達氏

ニ敵シテ、或ハ亡ビ、或ハ降ル、獨田村氏其舅氏ヲ
以テ、三春城ニ據リ、常ニ應援ヲナス、守山ニ大元
帥ノ祠アリ、蓋田村將軍ヲ奉祀スル處

刈田、伊具ハ、國ト地勢相屬セズ、岩代陸前ノ間ニ
夾マレ、北ハ羽前ニ接ス、全郡山多ク、北境殊ニ重
峻ナリ、刈田岳又白石岳ト呼フ、高險ニシテ、陸羽
ノ界ニ跨ル、古不忘山ト唱フル者是ナリト云フ、
其最高キ峯ヲ、截王岳トナス、亦噴火山ニシテ、麓
ニ温泉多ク、遠刈田、鎌崎、小原等アリ、白石川ハ源
ヲ羽前ノ境ニ發シ、岳ノ南麓ニ沿フテ、東ニ下ル、

岸ニ就キテ、村里アリ、即岩代ノ小坂峠ヨリ、羽前
ニ往来スル官道ニシテ、峽間數里、是ヲ山中七宿
ト云フ、川流ハ轉シテ、北ニ赴キ、白石ノ街市ヲ繞
リ、末ハ逢隈川ニ入ル、○逢隈川ハ、長流六十里、其
川路タルヤ、仙道ノ中央ヲ貫キ、常ニ東北ニ赴キ
流レテ、海山、兩道ノ山脈盡クル處ニ至リ、直ニ東
ニ折レテ海ニ入ル、其岩城ヨリ来リテ、伊具ノ中
間ニ入ルヤ、兩岸聳エ逼リテ、河幅俄ニ狭シ、是ヲ
猿跳ト云フ、水勢急激ニシテ、是ヨリ上流ハ、大船
ヲ通スルヲ能ハス、九森ヲ過キ、角田ニ至リ、山、絶

エ、地、平カニシテ、川流モ亦從ヒテ穩ナリ、陸前ノ
境ニ沿フテ、荒濱ニ注ク、

陸前ハ十四郡、柴田、名取、宮城、黒川、加美、玉造、志
田、遠田、栗原、登米、牡鹿、桃生、本吉、氣仙ト云フ、

牡鹿郡連山、相列リテ、海中ニ出ヅルヲ十餘里、一
ノ大岬ヲナシテ、海勢ヲ兩分ス、是ヲ遠島ト呼フ、
東面ニ二島アリ、田代、網地ト云フ、北陰ニハ、江島
出島ノ兩島、並列レリ、岬ノ端ヲ黒崎トナス、金花
山、大洋中ニ屹立シ、我國中土ノ東極タリ、其山ハ
岬端ヲ離ル、半里計、山島渡ト云フ、全山悉巨岩

登石ニシテ、且砂礫ニ至ル迄、皆金色ヲ帶ヒタリ、其大洋ニ向フ處ハ、削壁危柱、相列リ、大箱小箱、及千疊敷、水晶岩等ノ奇觀アリ。○此山ヨリ北ノ海岸ハ、岩石連リタル荒磯ナレド、海水深クシテ、舟泊ニ宜シキ處多シ、氣仙沼寂盛ナリ、唐桑崎其北ヲ限リ、大島港口ニ横リ、舟舶常集リテ、小都會ヲナス、此沿海ノ地ハ、即本吉氣仙ノ兩郡ニシテ、室根山ノ脈其背ニ連リ、陸中ノ東山ト境界ヲ分ツ、郡中山多ク、氣仙ハ、今泉盛等ノ街市アリ、五葉山高ク聳エテ北境ヲ限ル、海岸ハ綾里崎唐丹濱等

相連レリ、本吉ハ蠶桑ノ業殊ニ盛ニシテ、入谷志津川ノ村邑、取良品ヲ出ス、金華山ヨリ東南ハ、海水遠ク連リ、渺茫トシテ、其涯ヲ見ズ、凡東洋ヲ航行スル者ハ、房州沖ヨリ北ハ、此山ノ外、目標トスル者ナシト云ヘリ、山頂遙ニ岩城ノ鶴尾崎ト對シテ、其沿岸一ノ大灣ヲナス、灣ノ中央ヲ松島トナス、此地ハ、日本三景ノ第一ニシテ、宮戸、寒風澤、石濱ノ諸大島、其前面ヲ擁シ、南ハ與崎ヲ限トシ、其端ヲ花淵ト云フ、北ハ唐名ノ長洲突出テ、其内、南北五里、東西三里、一ノ内

海ヲナス、群島一百、大小並列リ、陸ニ近キ處ハ、御島、籬島、福浦島等、取著名タリ、凡、島嶼ノ上、悉、松樹ニシテ、翠色、烟波ト相映シ、妝點ノ美ナル、實ニ魚雙ノ勝景タリ、西北隅ニ富山アリ、全景ヲ一望スヘシ、其他ハ官戸ノ大高森、與崎ノ毘沙門山等モ、亦眺望ニ佳ナリ、千賀浦ハ、西北ノ隅ニシテ、其地鹽釜祠アリ、祠下ノ街市ハ、祠ニ因リテ、其名ヲ同リス、此地ハ仙臺ノ城市ヲ距ル五里、運輸ノ出入常ニ茲ニ集ル、故ニ繁盛ナル一小都會タリ、○鹽釜ノ南ニ、多賀城址アリ、神龜元年、始テ此城ヲ築

キテ、蝦夷ノ境ヲ歴ス、鎮守將軍常ニ来リテ、輿羽ヲ鎮シ、戍兵ヲ置キ、軍糧ヲ儲フ、號シテ鎮所ト云フ、其後、天平寶字六年、更ニ修造シテ、門碑ヲ建ツ、千餘年ノ久、今猶現存ス、其文ニ曰、去京一千五百里、蝦夷國界一百廿里ト、今程ノ二百五十里、及、二十里ニ當レリ、即、知ル、是ヨリ前ニ、桃生、及、玉造柵ヲ造ル者、恰、夷境ニ接セリ、田村麻呂ノ、膽澤城ヲ築クニ、及ヒテ、鎮所ヲ移シ、弘仁中、遂ニ其城ヲ以テ、鎮守府ト定メ、此地、遂ニ廢絶ニ就クト云フ、仙臺ハ一巨城市ニシテ、人口五萬、東方ノ一大都

會ナリ、元、伊達氏ノ居城ニシテ、樓壁ノ設、青葉山ニ據リ、廣瀨川ヲ帶ヒ、頗險要ヨリ、伊達氏ノ會津仙道ヲ攻取スルヤ、豐太閤其專擅ヲ責メ、侵地ヲ收メテ、僅ニ舊領ナル米澤ヲ存ス、既ニシテ遷封スルニ、葛西大崎ノ地ヲ以シ、居城ヲ岩手山ニ建テシガ、後此地ニ移リ治ム、故ニ其繁華ナルヲ、名古屋、金澤ニ次ク、城西ノ地ハ、連山、相重リ、奥、羽ノ分界ニ接ス、太白森磐山、根白石岳等相峙チ、北ハ七森ニ連リ、山間ニ作並、秋保ノ温泉アリ、取南ヲ青根ト云フ、其地ハ刈田岳ノ北麓ニ當レリ、○城

南ハ平野遠ク連ル十餘里、直ニ海濱ニ至ル即古ノ宮城野ニシテ、今猶古蹟ヲ存ス、萩花鈴虫、只名ノミナラズ、海岸ハ平沙行松、相連リ、南ハ逢隈ノ河口ヨリ、北ハ花洲崎ニ至ル、沿海九里、其間蒲生、閑上ノ諸濱アリ、名取川ハ源ヲ太白森鑛岳、笹谷峠等ノ數處ニ發シ、廣瀨川ト相合フテ、閑上ニ注ク、更ニ七北田川アリ、下流ヲ冠川ト云フ、宮城野ノ北ヲ過キテ、蒲生濱ニ落ツ、共ニ、細流ニシテ、舟楫ノ利ニ乏シ、

志田、遠田ハ、國ノ中央ニシテ、平田數十里間、絶工

テ岡阜ヲ見ズ、北ハ栗原佐沼ニ亘リ、東ハ北上川ニ跨リテ、桃生登米ニ連リタリ、土俗平田ノ廣大ナル處ヲ、廣稻ト唱フ、此地ハ北朝廷文中、大崎家兼、奥羽探題トナリテ、領セシ處ナレバ、今尚大崎廣稻ト呼フ、湖沼十數、其間ニアリ、品井沼、最大ナリ、周田十里、其他、廣淵沼、下郡沼、蕪栗沼、伊豆沼、及名緒、中田ノ諸沼ナリ、共ニ周田三四里ヨリ七八里ニ及フ、諸沼ノ間ハ地、大率卑濕ニシテ、只草茅ヲ生ズルノミ、俗ニ呼ビテ、谷地ト云フ、鳴瀨川ハ加美郡ノ水ヲ集メテ、中新田、三本木、及松山ヲ過

キ、品井沼ノ下流ト合フテ、小野川トナリ、唐名ノ東ニ至リテ海ニ入ル、玉造川ハ、源ニ、鳴子、川度ノ温泉アリ、下流ヲ江合川ト云フ、岩手山、古川ヲ過キ、涌谷ニ至リ、北上川ニ入ル、佐沼川ハ、迫川ノ下流ニシテ、伊豆、中田ノ諸沼ヲ集メ、南ニ轉シテ、蕪栗沼ニ入ル、再東出シテ、亦北上川ニ入ル、此三川ハ、謂ユル廣稻ノ間ヲ流ル、者ニシテ、小舟常ニ上下ス、昔聖武帝ノ時、陸奥、招テ黄金ヲ貢スト、其趾ハ、涌谷ノ北ナル籠岳ニシテ、平野中ノ孤山ヲリ、其傍、猶黄金迫ノ名アリ、○北上川ハ陸中ヨリ

○
来リ、室根山ノ脈連ル處ニ就キテ、南ニ流レ、山絶
エテ谷地、相連ル、諸沼ノ間ヲ横流レ、和淵ニ至リ、
東ニ轉シテ、廣淵沼ノ下流ヲ弁セ、鹿股ニテ、分レ
テ兩川トナリ、東流スル者ハ、本吉ノ追波ニ至リ
海ニ入ル、本流ハ南ニ赴キテ、石巻ノ港ニ注ク、即
古ノ伊寺水門ニシテ、河口ヲ夾ミ、街市相對ス、此
地ハ東洋中ノ一大港ニシテ、頗繁盛ヲ極ムト雖
凡、河口、水淺クシテ、大船巨艦ヲ泊スル能ハズ、然
凡、東岸ニ牧山アリ、西岸ニ日和山アリテ、自海門
ヲナス、源賴朝ノ奥羽ヲ平沼スルヤ、葛西清重ヲ

總奉行トナシ、日和山ニ居ラシム、後、登米ニ移ル、
故ニ其領スル處、亦葛西七郡ノ稱アリ、牧山ノ東
ニ、渡波ノ入江アリ、是ヨリ東ヲ遠島ノ地トナス、
栗原郡、分レテ一迫、二迫、三迫トナリ、而テ栗原ト
稱スル地ハ、佐沼ト共ニ、此郡ニ屬シテ、地勢ハ遠
田、登米ニ連リ、而テ金成廣稻ト稱スル地ハ、東北
ノ平田ニシテ、陸中ノ西磐井ニ亘リタリ、迫トハ、
峡谷ノ謂ニシテ、其地、山多ク、其間ノ溪流、相集リ
テ、迫川トナル、駒岳高ク聳エテ、陸中羽後ニ跨ル、
郡名ヲ冠リテ、栗駒山ト云フ、即大山脈中ノ最大

ナル者ニシテ、是ヨリ南ニ連ル、群山ハ、大牝山、翁岳、鎬岳、仙人岳等モ、共ニ大ニシテ、川田岳ニ接ス、其間ニ清水峠、笹谷峠、及輕井澤、中山等ノ險坂アリ、奥羽ノ間ニ、往来スル者、必是ニ由ルト云フ、陸中ハ、岩井、膳澤、江刺、和賀、稗貫、志和、岩手、鹿角、閉伊、九戸ノ十郡ノリ、

此國ハ、閉伊、九戸ヲ除キテハ、四面海ナク、且鹿角ハ、大山脈ノ西陰ニ在リテ、地勢相隔絶ス、而テ七郡ノ地ハ、山脈東西ヲ環リ圍ミ、北上川、其中間ヲ貫キテ、南ニ流レ陸前ニ入ル。○岩鷲山、高ク聳エ、

形似ヲ以テ南部富士ト云フ、南部ハ奥地ノ名ニ非ズ、南部氏、甲斐ヨリ来リ、近傍ノ諸郡、及糠部、津輕ノ地ヲ領ス、故ニ大南部、小南部、外南部ノ稱アリ、南昌山モ、亦一高山ニシテ、岩鷲ノ正南ニ峙チ、東根、葛丸ノ諸山、相連リ、別ニ一ノ山脈ヲ起シテ、其陰ヲ雫石、澤内ノ二邑トナス、連山相重リテ、其西ニ亘リ圍ム者ハ、大山脈ノ南ニ赴ク者ニシテ、御駒岳、馬蛭岳、雄駒岳、及經塚、旗矛ノ諸山、高峻相競ヒ、岩鷲ノ背ヨリ起リ、酢川岳ニ接ス、酢川ハ、即粟駒岳ニシテ、是ヲ陸前ノ境トナス。○御姫岳ハ

玉東山トモ云フ、岩鷲山ト對峙シテ、東ヲ圍ム連
山ノ脈ヲ起ス、其背ヲ藪川山トナス、早池峯雞頭
山ノ諸高山ト相連リ、九戸、閉伊ノ背ニ並ヒ、六角
牛山室根山等、一帶南ニ赴キ、陸前ノ氣仙、本吉ノ
西境ヲ限リ、登米、桃生ノ間ニ至リテ盡ク、○正北
ハ陸奥ニ接シ、其界ヲ中山ト云フ、即東西ノ山脈、
左右ヨリ相接スル處ニシテ、是ヨリ北ハ、水流悉
北ニ流レ、以南ハ、皆北上川ニ入りテ南ニ流ル、中
古夷境ヲ限ル者ハ、實ニ天然ノ經界ナリ、
北上川ハ、岩鷲山ノ北ナル、弓弰泉ヲ水源トナス、

南流スルノ僅ニ六七里ニシテ、盛岡ニ至ル、舟橋
アリ、越中ノ富山、越前ノ福井ト三舟橋ノ名アリ
シガ、近來、板橋ニ改造シテ、行路ノ便ヲ謀ル、橋下
既ニ舟運ノ利アリ、凡七郡ノ水、數十川、注キ入り
テ、益其大ヲ致シ、常ニ南ニ赴キテ、陸前ニ入ル、抑
我國ニ於テ、大河ト稱スル者ハ、中土ニアリテ、利
根、木曾、千曲ノ三川ヲ推ス、サレド、利根ハ舟楫ニ
便ナレ、凡水程、其源ニ及バズ、千曲ハ、其流長シト
雖モ、處々、障碍アリ、木曾ハ、溪谷ノ大ナル者ニシ
テ、下流ニ至リ、僅ニ通船ヲ得ルノミ、獨此川ハ源

ヨリ河口ニ至ル七十里、沿岸ノ地、大率平坦ニシテ、河中岩礁ノ害ナク、舟運ハ遥ニ其源ニ溯リ、兩國ノ米穀、數百萬石、其運輸是ニ由ラザルナシ、實ニ無雙ノ大河ト云フ可シ、○七郡ノ水、其著ル者ハ、丹藤川ハ、藪川山ヨリ出テ、西下ス、源泉ヲ去ル遠カラズ、河流、此水ヲ得テ、勢始テ其大ヲナス、雫石川ハ、御駒岳ノ山脈ヨリ發シ、東ニ下リ、厨川ノ城墟ヲ繞ル、中津川ハ、東ヨリ來リ、盛岡ノ市間ヲ流ル、盛岡ハ、南部氏ノ居城ナリ、元來方城ト呼フ、一方ノ都會ニシテ、仙臺以北ノ城市タリ、

厨川ハ、北上川ヲ夾ミテ相對ス、天喜中、安倍貞任ノ據リテ、官軍ニ抗スル處ニシテ、其地、西北ニ大澤アリテ、他ノ二面ハ、河ヲ阻ツト稱ス、今猶然リ、賴義ノ是ヲ攻ムルヤ、火攻ヲ用キテ、遂ニ誅滅スルヲ得タリト云フ、志和郡ニ、斯波氏ノ故城アリ、伊澤郡ニ鎮守府ノ舊趾アリ、和賀川ハ、澤内ノ水ヲ集メ、膽澤川ハ、源ヲ下嵐江ニ發シ、各郡ノ諸溪ヲ并セテ、共ニ西ヨリ來リ注ク、其東ヨリ會スル諸水ハ、横田川、次丸川、倉沼川等、共ニ早池峯、六角牛山ノ山脈間ヨリ出ツル者トス、江刺ニ黒石

寺あり、田村將軍ノ建立スル所ニシテ、亦有名ノ古寺ナリ、衣川ハ、葺川岳ノ陰ニ出テ、高館ノ下ニ至リテ、櫻川ニ入ル、櫻川ハ、即北上川ノ別名ナリ、衣川以北ハ、昔時、奥六郡ト稱シ、安倍賴時、其首長トナリ、數世海陸ヲ劫服シテ、貢賦ヲ致サズ、衣川ノ險ニ據ル、關ヲ設ケ、厨河、鳥海ノ二柵ヲ構ヘテ、勢甚彊大ナリ、賴義國守ヲ以テ、是ヲ討ス、攻伐六年、賴時遂ニ鳥海ニ敗死ス、其子貞任、再衣關ニ據リ、官軍屢敗ル、後又六年、賴義、兵ヲ出羽ノ豪族清原武則ニ召シ、奮戰シテ、是ヲ破リ、遂ニ衣川、鳥海

ノ兩柵ヲ拔ク、貞任退キテ、厨河ヲ保ツト云フ、岩井川ハ、酢川岳ノ陽ヨリ發シ、岩壁相逼リテ、五串ノ瀑布トナル、頗奇觀ナリ、此川ノ地方ハ、西岩井ト稱シ、南岸ニ、一關、二關、三關ノ村里アリ、昔藤原清衡ノ居所ヲ平泉ニ構フヤ、關門ヲ置キテ、守禦ヲ設タル處ナリ、平泉ハ、高館ト相接シ、清衡基衡秀衡ノ三世茲ニ居リ、奥羽兩國ヲ領シ、其勢王室ニ僭擬シ、伽羅樂御所、柳御所等ノ名アリ、毛越中尊ノ二大寺ヲ建立ス、其趾猶存ス、中尊ハ、經藏、光堂、尚榮華ノ舊構ヲ存ス、光堂ハ、金漆ヲ以テ、悉塗

ル、故ニ金色堂ト呼フ、其内ニ三世ノ棺ヲ藏ム、源
義經ノ罪ヲ兄頼朝ニ得テ、再逃レテ秀衡ニ依ル
ヤ、高館ニ居ラシメテ以テ奉饗ス、今猶判官館ト
唱ス、其地北上川ニ臨ミ、川ヲ隔テ、東稻山ト相
對ス、昔時、全山櫻樹ヲ植ク、仍テ櫻川ノ稱アリ、秀
衡歿後、其子泰衡家ヲ繼ケ、氏義經ヲ庇翼スルコ
能ハズ、而テ身モ亦誅セラレテ、國遂ニ滅亡ニ就
キタリ、○東山ハ、岩井郡ノ北上河東ニアル地ヲ
總稱スル者ニシテ、曾慶川、興玉川、共ニ、室根山ヨ
リ出テ、曾慶川ハ、鳥海ノ柵墟ヲ繞ル、月館川ト合

クテ西南ニ流レ、興玉川ハ千廐ヲ過ギテ西ニ赴
ク、千廐ハ、秀衡ノ軍馬ヲ飼フ處ニシテ、其礎石現
存ス、其地、猶馬鞞ヲ織出シテ名産トナス
靈龜元年蝦夷ノ請ニ依リテ、郡家ノ閉村ニ建ツ、
即今ノ閉伊郡ニシテ、其地ハ、陸前ノ氣仙ノ北ニ
並ビ、九戸ト共ニ、早地峯、藪川山名久井岳等ノ連
山ヲ負ヒ、前ニハ大洋ヲ受ケ、沿海四十餘里、種市
山岸上ニ峙チテ、陸奥ノ境ヲ限ル、海岸ハ、岩礁ニ
キ荒磯ナレ、氏内地ノ山高キガ故ニ、海水深クシ
テ舟泊ノ處多シ、釜石山田、大槌ノ三港ハ南隅ニ

アリテ、互ニ相接ス、小本川、藪川山ヨリ來リ、宮古久慈、兩港ノ中間ニ落ツ、宮古ハ、帆懸崎出テ、一灣ヲナシ、歙崎ト街市相連リ、津輕石川、宮古川共ニ西ヨリ來リテ灣内ニ注キ入ル、久慈ハ、相隔ツルヲ十餘里、其地九戸ニ屬スレ、閉伊ノ川流レ入レバ、古ハ、是ヨリ南ヲ、閉伊ノ本郡トナスナラシ、而テ糠部ハ、夷境ニ附スル、屬地ナルヘレ鹿角ハ、大山脈ノ間ナル平地ニシテ、來萬山、十和田山等ノ高山、東ニ相列リテ、陸奥ニ界レ、南ハ岩鷲山ノ背ニ當リ、道路相通ビズ、地勢ハ、羽後ノ比

内ト相接シ、日暮、土高場、立菱ノ諸山、相限レ、水流、悉集リテ、米代川トナリ、西ニ流ル、河源ヲ十和田湖トナス、元慶二年、出羽ノ夷倭叛シ、上遠野及各地ニ據リタリ、即此地ニシテ、後、奥地ニ屬セリ、郡中ハ、礦山アリ、温泉アリ、花輪、毛馬内ノ諸邑相望シ、平坦數里、自山間ノ沃野ヲナス、陸奥ハ四郡ニシテ、二戸、三戸北郡、及津輕トナス、

東山道ノ北端ニ居リ、我國中土ノ頭頂タリ、三面海ニ臨シ、南ハ陸中、羽後ニ接ス、東ハ大洋ニ向ヒ、

西ハ日本海ニ臨ミ、正北ハ海峽ヲ隔テ、北海道ノ渡島ト相對ス、中間ニ大ナル内海アリ、海水北ヨリ來リ、東ヘ入ルニ十餘里、其沿岸五十里計、南岸ニ青森野邊地ノ兩港アリ、烏帽子岳高ク岸上ニ聳エテ、其間ヲ限ル、故ニ南部津輕兩地ノ通路ハ、海岸一條ノ細路ノミ、是ヲ馬門ト云フ、二戸、三戸、北郡ハ陸中ノ九戸ト共ニ、古ノ糠部ノ地ニシテ、元、閉伊ニ屬シ、中世ニ至リテ、猶夷境ヲリ、其地、南ハ中山ヲ境界トシ、次第ニ區別シテ、北ニ赴キ、一戸ヨリ、七戸ニ至ル、而テ八戸、九戸ハ、東

海ニ沿ヒテ南ニ亘リ、閉伊ノ本郡ニ接ス、〇一戸ヨリ、三戸迄ノ地ハ、陸中ノ間ニ夾リ、西ハ七時兩山、四角岳、來瀡山、戸來岳ノ諸岳相列リ、鹿角ト境ヲ限リ、其脈北ニ赴キ、十和田山、奥瀨岳、甲田山等連續シテ、烏帽子岳ニ至リテ盡ク、折爪、名久井ノ諸山ハ、中山ノ東ニ連ル、蓋御姫岳ノ脈ヲ承ケテ北ニ亘ル者ニシテ、九戸ト腹背ヲ分ツ、三戸ハ、南部氏ノ舊居タリ、其始、糠部津輕ノ地ヲ領スルヤ、城郭ヲ茲ニ構フ、天正中、其族九戸政實、叛シテ福岡ニ據ル、豊太閤、將兵ニ命ジテ、纔ニ是ヲ討平ス

ト云フ、凡、此間ノ水流ハ北ニ流レ、白鳥猫淵ノ諸川、悉、福岡ニ集リ、漸、大川トナリ、七時雨山ヨリ來ル、淨法寺川ト合フテ、三戸ニ至リ、又、來、嵩山ニ發スル、熊原川ヲ并セ、轉ジテ東ニ下リ、其流、廿五里、是ヲ馬淵川ト云フ、八戸ノ湊ニ注ク、此湊ハ、南部支封ノ地ニシテ、小南部ノ稱アリ、東洋ノ岸ニ於テ、策北ノ海港トナス、故ニ頗、繁華ノ地タリ、○五戸七戸ノ間ハ、山田解ケテ、東洋ヲ一望ス可シ、其間、曠原荒蕪スルヲ、四方十餘里ニ亘ル、是ヲ三木木平ト云フ、六戸川ハ、相坂川トモ云フ源ヲ十和

田沼ニ發シ、荒野ノ中央ヲ東下シテ海口ニ至リ、戸來岳ヨリ出テ、五戸ヲ流レ來ル、市川ト共ニ海ニ入ル、○十和田沼ハ、山間ノ湖水ニシテ、周圍數里其高山ノ腹ニ在ルヲ以テ、水清ク、地幽ナリ、湖口、四出ス、西流スル者ハ、米代川トナリ、北出スル者ハ、岩木川ニ入ル、而テ東ニ下ル諸川ハ、共ニ東洋ニ注ク、奥瀨川、大浦川、共ニ七戸ノ南ヲ流レ、坪川、石文川ト合ヒ、海濱ニ至リ、溜リテ、倉内、尾鮫ノ二大沼ヲナス、姉海、妹海ト云フ、周圍各、十里計、海潮立ニ通ス、○野邊地ハ、七戸ノ北五里餘ニ在

リ、北海ニ運漕スル舟舶、常ニ出入シテ、一都會ノ地タリ是ヨリ東北ハ、即外南部ノ地ニシテ、一帯ノ陸路地峽ヲナシ、相連ル十里計、内海ト東洋トノ間ニ亘レリ、北端ヲ、尻矢崎ト云フ、渡島ノ患山崎ト對シ、又、遙ニ日高ノ襟裳崎ト相望ム、暗礁海中ニ亘ル一三里、舟行ノ難所トス、其東洋ニ向フ處モ、八戸ノ岬ニ至ル二十餘里、海上ニ岩礁並峙チ、風浪常ニ險惡ナリ、地峽ノ幅ハ三四里、大率空山荒野ニシテ、村里樹木少ク、其端西ニ折レテ、大ナル出島ヲ為ス、沿岸二十里、舟泊ノ處多シ、北出

ノ岬ヲ大間崎ト云フ、箱館港ト相向フ、海程七里計、西ニ奥戸、佐井ノ二港アリ、東ニ大畑港アリ、中央ハ、悉噴火山ニシテ、山火常ニ燃エ、硫氣充滿シテ、草木生ゼズ、其高キ者ヲ恐山ト云フ、大畑川、生津川、共ニ山中ヨリ出テ、北流シテ外洋ニ入ル、内海ノ岸ニ、釜伏山、高ク聳ユ、山中多ク檜材ヲ出ス、東麓ヲ、田名部トナス、安渡ノ港ト相接シテ、島中ノ一都會タリ、西端ヲ、九艘泊ト云フ、津輕ノ平館ト、内海ノ口ヲ夾ム、其間六里ヲ隔ツト云フ、津輕ハ、兩羽ノ北端ニ屬シ、山岳重疊シテ、其東西

ヲ圍ム、隣境ト相接スル處ハ、矢立峠僅ニ陸路ヲ
羽後ノ比内ニ通ス、其麓ヲ碓關ト云フ、温泉アリ、
朝懸高倉ノ諸岳、其西ニ列リテ、正南ヲ限ル、泊岳
寂大ナリ、東境ハ、十和田、奥瀬ノ山脈相連リテ、膳
棚、蛭飼ノ諸山アリ、甲田山ハ、八峯並列シテ、殊ニ
峻秀ナリ、故ニ八甲田山、又、八甲山ト云フ、其脈盡
クル處ヲ、馬門ノ險路トナス、西ノ海濱ニ、亦白神
岳、男岳、女岳等、泊岳ノ陰ニ接シ、沿岸只、大間越ノ
一綫路アルノミ、其他ハ、三面、海ニ臨ミ、沿岸七十
里、北出ノ岬ヲ、龍飛崎ト云フ、渡島ノ白神崎ト、相



對シテ、海峽ヲ夾ム、其間四里計、海流激シテ、三條
ノ太河ヲナス、潮流ノ急ナルヲ、我國ニアリテハ、
第一ノ險ナリ、阿波ノ鳴戸、長門ノ早鞆ハ、是ニ次
ガ、蓋日本海ノ水、太平洋ト、互ニ流シ通スル處ニ
シテ、其潮路ハ、兩岬ノ下、及中央ニ在リ、舟人、是ヲ
三沙ト唱ヘテ、舟行ノ甚戒ム處トナス、岬ノ東ヲ
三馬屋ト云フ、松前ヘ渡ル地ニシテ、停泊ノ便アリ、
此地ハ、九郎義經ノ、平泉ヲ逃レテ、蝦夷地ヘ渡
ル處ニシテ、其時、鞍馬三ヲ留ム、故ニ此名アリシ
ト云フ、此邊ノ海濱ハ、謂ユル外濱ニシテ、舍利、今別

ノ諸濱ハ、砂石、悉珠玉ノ如シ、是ヲ合浦ト稱ス、其背ハ、増川、岳品、岳等相重リ、東端ヲ平館トナス、即内海ノ門口タリ、○内地ハ、平坦ニシテ、田野開ケ、岩木山、西南ニ峙テ、獨立高峻、呼ビテ津輕富士ト云フ、岩木川ハ、源ヲ泊岳ニ發シ、岩木山ノ溪谷ヲ并セ、北流シテ、弘前ノ城市ヲ環ル、天正中、津輕爲信ノ據リテ、本郡ヲ專領スル處ニシテ、郡中ノ一都會タリ、平川、淺瀬川、石川等、共ニ東境ノ連岳ヨリ来リ、悉合流シテ、一大河トナリ、平野ノ間ヲ横流シテ、十三瀉ニ入ル、其流二十餘里ニ及ブ、○十

三瀉ハ、一ノ湖水ニシテ、南社三里、東西二里、湖口、港ヲナシテ、舟舶常ニ集レリ、其地、西北ノ海濱ニ臨ミ、是ヨリ南ニ沿フテ、鯨澤ニ至ル、平砂、相列リテ、村里ナシ、七里長濱ト云フ、鯨澤モ、亦碇泊ニ便ナル處ニシテ、其南ニ、又深浦ノ港アリ、海岸、漸峻峻ナレバ、頗好風景ノ地タリ、海上ハ、岩石並列シテ、大間越ニ亘レリ、以上三港、更ニ青森ヲ并セテ、津輕ノ四港ト稱ス、○青森ハ、内海ノ西南隅ニ在リ、平館ヲ距ル、沿岸十里、弘前ヲ隔ツ、陸路十餘里、港ノ東ニ、夏泊崎出テ、更ニ一灣ヲナス、其地、樹

木蒼翠トシテ、舟人見テ目標トナス、故ニ此名アリ、箱館へ、水程三十里、諸國ノ舟船、常ニ集ル者數百人、烟ノ盛ナルヲ、石巻、酒田、ト、三方ニ對立シテ、奥羽中ノ三大港タリ、

羽前ハ四郡ニシテ、置賜、村山、最上、田川ト云フ、和銅元年、越後國ニ出羽郡ヲ置ク、今ノ庄内ノ地是ナリ、同五年、建テ、國トナシ、陸奥ノ最上、置賜ノ二郡ヲ屬ス、明治元年、奥羽ヲ分ツ時、羽前國ヲ置ク、即此三郡ノ地ナリ、其地、東ハ陸前、磐城ニ接シ、南ハ岩代、越後ニ包マレ、北ハ羽後ニ界ス、國境

ハ、何レモ深山重岳ニシテ、西、僅ニ日本海ニ臨メリ、月山、國ノ中央ニ聳エテ、地勢ヲ限リ分ツ、平野其間ニ連リテ、復、米澤、最上、庄内ノ三地ヲ爲セリ、最上川ハ、兩羽中ノ大河ナリ、上流ヲ松川ト云フ、吾妻岳ニ發シ、西下シテ、米澤ヲ過キ、鬼面川、羽黒川、吉野川、野川等ヲ并セ、北ニ赴キテ、最上川トナリ、左澤ヲ過キ、東ニ轉シテ、寒河江ニ至リ、須川、馬見崎川、相會シテ、平野ノ間ヲ北流ス、立岩川ハ、東ヨリ來リ、白岩川ハ、西ヨリ入り、益、其大ヲ致シ、尾花澤ヲ過キ、船形川北ヨリ來リ、注キ、仍テ折レテ、

西ニ轉ス、此間ハ、月山ノ脈ニ當リ、連山重合シテ、平地ノ流レ行ク可キナシ、故ニ板敷山ノ麓ヲ穿チ貫ク、兩岸、壁立數十丈、瀑布、其際ニ懸リ、頗奇觀タリ、水勢、最急激ナレド、山路ノ殊ニ險シキヲ以テ、清水ヨリ清川迄、峽間七里、往来共ニ舟ニ依ル、即富士川、及肥後ノ球摩川ト、三急流ノ稱アル所ナリ、清川以下、兩岸、圍解ケ、庄内ノ中央ヲ斷チ、竹田川、赤川ヲ并セ、亦七里ニシテ、酒田港ニ至リ、海ニ入ル、故ニ酒田川ト呼ブ、此川、源ヨリ海口迄、凡六十里ノ遠キニ及ベド、舟楫ノ利ハ、僅ニ其三分

ノ一ニ過ギズト云フ、

庄内ハ、中古、三郡ノ稱アリシガ、出羽郡廢シテ、田川ニ合シ、飽海郡ハ、羽後ニ屬ス、最上川、兩郡ノ間ヲ流レテ、仍テ國界ヲナス、尚兩地ニ亘リテ、庄内ト呼ブ、○月山、高ク秀テ、正東ニ聳シ、湯殿羽黒ノ兩山、其腰ニ峙チ、北ハ板敷山ニ接シ、南ハ朝日岳ニ連リ、最上ト腹背ヲ分ツ、朝日岳ハ、越後ニ跨リ、其脈、西ニ赴キ、尾國嶺トナリ、險阪數里、是ヲ兩國ノ境トナス、○鳥海山ハ、奥羽中ノ大岳ニシテ、登降九里ニ及ブ、其山、獨立峻秀ニシテ、他山ノ遮

リ覆フ者ナレ、山麓西ニ赴キ、海岸ニ至リテ斷ツ、
是ヲ三崎嶺トナス、山路險惡ニシテ、僅ニ往来ヲ
通ズ、有耶無耶關ト呼ブ、庄内ノ北境タリ、南境ハ、
鼠關ト云ヒ、即尾國嶺ノ麓ニ當レリ、兩關ノ間、海
岸二十里計、酒田川ノ海口ヨリ、南ハ、加茂湊、及三
瀨、温海ノ諸邑相連リ、海中ニ岩礁並峙チ、岸上モ
山多クシテ、道路險峻ナリ、温海岳高ク聳エ、其麓
ニ温泉アリ、湯温海ト云フ、而テ加茂以北ハ、遠ク
亘リタル砂山ニシテ、酒田ノ北ヲ吹浦ト云フ、沿
岸十里、海風常ニ砂礫ヲ吹キ、行路甚艱メリ、一島

其海上ニ孤立スル者ヲ、飛島トナス、○内地ハ、頗
平坦ニシテ、金峯山、東南ニ聳エ、大梵宇川ハ、湯殿
山ヨリ出テ、大鳥川ヲ合セ、鶴岡ノ城市ヲ繞リ、北
ニ流ル、是ヲ赤川トナス、抑此地ハ、大寶寺氏ノ領
地ニシテ、天正中、其主光安、苛政ヲ施シ、國人稱シ
テ惡屋形ト呼ブ、遂ニ寂上氏ノ為ニ滅サル、既ニ
シテ、上杉氏越後ヨリ來リ、攻メテ是ヲ取ル、鶴岡、
常ニ其城地トナリ、街市ノ繁盛、今ニ大都會ヲナ
ス、酒田港ト、相距ル六里、赤川ニ舟運ノ便アリテ、
常ニ往来ス、酒田ハ、北運ノ舟舶、集リ泊シテ、京畿

ノ運輸ニ便ナリ、其人烟ノ繁華ナルヲハ、新潟以
北ノ一大良港タリ、

最上郡分レテ村上郡トナル、實ニ仁和二年ナリ、
延文元年、源兼頼、北朝ノ命ヲ受ケテ、出羽按察使
ニ任ズ、仍テ最上氏ヲ稱シ、十世ノ孫義光、遂ニ此
二郡ノ地ヲ專領ス、故ニ猶總稱シテ、最上ト云フ、
東ハ、翁岳、笹谷山等相連リテ、蔵王岳ニ接ス、西ハ、
月山ノ脈列リ、葉山、其前ニ聳ユ、中央ハ、冨上川ノ
東西ニ亘リ、其間、四五里、南北凡十五里計、地勢ノ
平坦ナルヲ、兩羽中ニ冠タリ、北境ハ、山多クシテ、

八向、木像ノ諸山相連リ、羽後ノ境ヲ、及位峠トナ
ス、又杉峠ト云フ、新庄ハ、山間ノ城市タリ、猿列川、
西ニ流レテ、冨上川ニ入ル、是ヲ船形川トナス、此
地方ハ、即冨上氏ノ舊地ニシテ、後、山形ニ移リ居
ル、○山形城ハ、義光、築ク處ニシテ、城郭ノ設、頗壯
大ナリ、上山、天童ノ二城、其左右ニ列リ、須川、馬見
崎川、共ニ蔵王岳ヨリ出デ、三城ノ間ヲ流レテ、
西ニ下ル、上山ニ温泉アリ、遊人、常ニ来リ浴ス、其
他、山寺ノ石橋、大沼ノ浮島等モ、亦有名ノ勝地ナ
リ、

米澤ハ、即置賜ノ一郡ヲ呼ブ者ニシテ、伊達、上杉ノ兩氏、相繼キテ、城地ヲ構ヘ、長ク此地ヲ治ム、故ニ此稱アリ、○吾妻岳、兩峯高ク聳エテ、岩代ノ界ニ立チ、東大巖、西大巖ト呼ブ、山腹ニ焼湯アリ、麓ニ滑川、五色等ノ温泉アリ、燕瀧高、二十丈、是ヲ松川ノ源トナス、岳ノ東ヲ板谷峠トナシ、西ヲ檜原峠トナス、共ニ大山脈ノ中間ニ當リ、檜原尤、險ナリ、會津、米澤ノ間ハ、僅ニ此一路アルノミ、北方ノ最上ニ接スル處ハ、漸平カニシテ、西境ハ、重山、更ニ深シ、而テ中間ハ、平地十里計、土人、能ク生産ヲ

勤メ、蠶桑ノ業、極テ盛ナリ、城北ノ温泉ヲ、赤湯ト云フ、浴客常ニ賑フ、其傍ニ沼アリ、白龍湖ト呼ブ、吉野川ノ源タリ、沼ノ東ハ、屋代郷トテ、自一郷ヲナス、羽黒川ハ、板谷峠ノ北ヨリ出ヅ、大樽、小樽ノ兩川ハ、檜原ノ脈ニ發シ、相合フテ、鬼面川ト云フ、野川ハ、朝日岳ヨリ來リ、其流十里ノ遠キニ及ブ、○朝日岳ハ、庄内、最上ノ三地ニ亘リテ、飯豊山ト相對シテ、共ニ越後ニ跨ル、國境ヲ、大里峠ト云フ、兩山ノ間、別ニ一郷ヲナシ、黒澤、榎木等ノ坂路アリ、其間ノ平地ヲ、小國ト云フ、玉川、横川、相集リテ、

西ニ下ル、越後ノ荒川是ナリ、凡國中ノ川谷、別ニ一河ヲ為シテ、最上川ニ入ラザル者ハ、惟此川アルノミ、

羽後ハ、秋田、山本河邊、仙北、雄勝、平鹿、由利、飽海ノ八郡ナリ、

阿部比羅夫、舟師ヲ率キテ、越國ヨリ蝦夷ヲ伐チ、飽田、澁代、津輕ノ地ヲ定メ、其郡領ヲ置ク、飽田ハ、即秋田ナリ、澁代ハ、野代ニシテ、今ノ山本郡ノ地、而テ津輕ハ陸奥ニ屬ス、其後七十餘年、出羽柵ヲ秋田ニ徙シ、其多賀柵ヨリ、行路ノ迂遠ナルヲ以

テ、新ニ雄勝ノ直路ヲ開キ、後二十餘年ヲ經テ、雄勝城ヲ造リ、翌年、雄勝、平鹿ノ二郡ヲ置ク、寶龜ノ末、阿部家麻呂奏シテ、秋田城ヲ河邊ニ遷サンテ、請フ、朝議許サズ、且、曰ク、由利柵モ、亦秋田ノ道ヲ承ク、共ニ將士ヲシテ、是ヲ鎮セシム可シト、後二十餘年、遂ニ城ヲ廢シテ郡ト為シ、河邊府ニ遷リタレド、既ニシテ、又、秋田ニ復スト云ス、弘仁中、夷俘叛キ、城ヲ燒キ、火内、野代、及上遠野等ニ據ル、藤原保則討シテ、是ヲ平ク、是ヨリ、邊境事ナキテ、百七十年、清原武衡俘囚ノ長ヲ以テ、悉山北ノ地

ヲ領ス。前九年ノ役、源賴義、其兵ニ賴リテ、安倍貞任ヲ誅滅スルヲ得ルト云フ。

北ハ、陸奥ノ津輕ニ接シ、西ハ、羽前ノ寂上、庄内ト相交ル。東ハ、大山脈ヲ分チテ、陸中ニ界ス。駒岳ハ、即御駒岳ニシテ、大深山、駒形山、藥師岳、阿彌陀岳、時宗山、及、國見、八方ノ諸嶺、其間ニ連リ、馬蛭岳、簀川岳ト、相並ビテ、大嶽山ニ接ス。小安岳、虎毛岳、其隅ニ峙チ、鏑岳ハ、羽前ニ跨リ、寂上ノ境ヲ、杉峠トナス。其脈、西ニ亘リテ、鳥海山ニ連ル。○森吉山ハ、鹿角ノ境ニ聳エ、土高場、日暮ノ諸山、其北ニ列リ、

折レテ西ニ環ル。其隅ヲ矢立峠トナス。森山、泊岳、池臺山等、屏列シテ、直ニ海岸ニ至ル。其盡クル處ヲ、岩館ト云フ。即大間越ハ、險路ヲ承クル者トス。○太平山ハ、國ノ中央ニ立チ、岩見山、鶴養山、龍峯等、其背ニ重リ、大佛山ハ、仙北、比内、兩地ノ界ヲ限リテ、駒岳、森吉山ノ間ニ連ル。其間ハ、總テ深山幽谷ニシテ、瀑布十餘、或ハ十五丈、或ハ二十丈、其寂大ナル者二條、共ニ高五十丈、白糸瀧ハ、北ニ落チテ、比内ノ大又川トナリ、大瀧ハ、南ニ流レテ、玉川ニ入ル。

玉川ハ、小保内川トモ云フ、駒岳、大深山ヨリ發シ、南ニ流レ、田澤沼ノ下流、及角館川、齋内川ヲ并セテ、西ニ下リ、又大佛岳ヨリ來ル、鰍瀨川ト合セ、西南ニ赴キ、御物川ニ入ル。○御物川ハ、最上川ニ次ク大河ニシテ、野代川ト、羽州ノ三大川ト稱ス、源ヲ、小安岳ニ發シ、北ニ流レ、岩崎川、横手川ヲ并セ、神宮寺岳ノ麓ニ至リ、玉川ト相會ス、此兩川ノ流ル、地方ハ、古ノ山北ノ地ニシテ、今猶、總稱シテ、仙北領ト呼ブ、水流ハ、相合フテ、西ニ赴キ、更ニ岩見山中ノ溪谷、及太平山ノ陰ヨリ出ツル、戸島川

ヲ并セ、秋田ヲ過ギテ、新川ト呼ビ、土崎湊ニ注ク、其流、三十餘里ニ及ブト云フ。○野代川ハ、米代ノ下流ニシテ、陸中ヨリ來リテ、西ニ下ル、比内ノ水四方ヨリ來リ注ク、其矢立嶺ヨリ來ル者ハ、屈曲環流シテ、津波十數、故ニ四十八川ノ稱アリ、比内ハ、即火内ナリ、其地、鹿角、津輕ニ接シ、山間ノ平野四方七八里計、別ニ一郷ヲナス、土人ハ、郡ヲ以テ自稱スルニ至ル、水流ハ、直下シテ、早口、綴子ヲ過ギ、小繫ニ至リ、兩山相合フテ、地勢ヲ限ル、七座山其上ニ聳エ、籠山、岸ヲ夾ミテ相對ス、阿仁川ハ、大

小二川アリ、龍峯ヨリ出テ、大又川ト合ヒ、山谷ノ間ヲ穿チ下リ、大錠小錠ノ險崖アリ、七座山下ニ至リテ合流ス、小繫以下ハ兩山ノ峽ヲ穿ツ、一里餘、岸上、險路ナルヲ以テ亦舟ニテ往來ス、峽ヲ出レバ、平野相連ル、即古ノ渟代ノ地ニシテ、川流其中央ヲ流レ、藤琴川ヲ并セ、野代湊ニ入ル、仍テ野代川ト呼ブ、源ヨリ凡廿五里、御物川ト、共ニ舟運ノ上下スル者ニシテ、米代川ハ、竅其上流ニ及ブト云フ、

西岸ハ、一帯日本海ニ臨ミ、中央ニ、男鹿山アリ、一條ノ州路、二里餘北ニ連リテ、一ノ出島ヲ為シ、其内ヲ、八郎潟トナス、島中ハ、寒風山、本山等、相聳エ、海中ハ、危石巨礁時チ列ル、龍頭岩竅奇ニシテ、其他、石門岩洞ノ奇絶アリ、〇八郎潟ハ、南北七里東西四里ナル大湖水タリ、北隅ヲ、濱田ト云フ、即州路ノ陸地ニ接スル處ニシテ、野代港ト相距ル三里、其東北ハ、廣原、相連ル十餘里、金光寺原等ノ名アリ、大率荒廢シテ、開墾ノ業ニ就カズ、湖水南ニ流レテ船越ニ至リ、川トナリテ海ニ入ル、其湖海ノ間、甚近キヲ以テ、暴潮高ク漲ル時ハ、常ニ逆流

スト云フ、

秋田城ハ、久保田ト呼ブ一都會ニシテ、御物川ヲ
帶ビ、太平山、其上ニ聳エ、土崎湊ト相距ル一里計、
湊ハ頗繁華ナル處ニシテ、船越ト相隔ツ五里、野
代ト、共ニ酒田以北ノ良港トナス、應永中、安東太
廣季ナル者、津輕ヨリ、船ヲ航シテ、湊ニ至リ、遂ニ
秋田ヲ領シ、五世相傳ヘテ、常陸ニ遷サル、佐竹氏
ノ代リテ、此地ニ封セラル、ヤ、由利、飽海ヲ除キ、
其餘ノ六郡ヲ領ス、其地曠ク、民少クシテ、原野往
々荒蕪ス、然レモ、隣境ニ接スル地ハ、堡砦ヲ置キ、

各小城市ヲ為セリ、大館ハ、矢立嶺ヲ隔ツ五里、比
内ノ中央ニアリ、湯澤ハ、杉峠ノ北、四里ニシテ、角
館ハ、國見嶺ヲ距ル六里、而テ横手ハ、兩地ノ中間
ニアリテ、共ニ仙北ニ屬ス、其北ヲ、金澤トナス、即
清原家衡、武衡ノ據ル所ニシテ、古蹟猶存セリ、
由利ハ、鳥海山ノ北陰ヲ環リ、飽海郡ト腹背ヲナ
ス、東北ハ、保呂羽、八鹽ノ山脈、相連リテ、仙北ヲ限
リ、西ハ海ニ臨ミ、三崎嶺ヨリ、御物川ノ海口ニ至
ル、一帯ノ沙濱ニシテ、其間二十里計、子吉川ハ、源
ヲ、鳥海山ノ東麓ニ發シ、矢島ヲ過ギテ、西ニ流ル

羽廣川ハ、保呂羽山ヨリ出テ、相合フテ、本庄ノ城、市ヲ繞リ、海ニ入ル、河口ヲ、古雪湊ト云フ、亦舟泊ノ地タリ、此他、鳥海山ノ、谷間ヨリ出ツル者、安沼鳥越ノ諸川、相集リテ、白雪川トナリ、直ニ海ニ入ル、其南溪ニ、發スル者ハ、日光、月光ノ兩川、共ニ吹浦ニ注ク、

象潟ハ、松島ト、東西、相對シ、勝景ノ地ト稱ス、其地、三崎嶺ノ麓ニ接シ、海濱ヲ、汐越ト云フ、潟ノ周圍一里餘、中ニ島嶼アリシモ、文化ノ初、地震ノ為メニ崩レテ、平田トナリ、湖口ハ、海潮逆流シテ、徒ニ

其名ヲ存スルノミ、

奥羽ノ産馬ヲ以テ良トナス、其來ル久シ、弘仁六年、陸奥出羽按察使奏ス、軍團ノ要ハ、馬ヨリ先ナルハナシ、然ニ權門富人、搜求絶エズ、兵馬是ニ由テ闕乏ス、請フ延暦六年ノ定條ニ依リテ、嚴禁セシト、其後、貞觀三年ノ制ニ、陸奥ノ馬ハ、境ヲ出サ、ルト既ニ久シ、今、法禁漸ク弛ブ、凡、戎馬ノ用ニ堪ユル者ハ、牝牡トナク、悉境ヲ出スヲ禁ス、其駿良ノ産、軍國ノ用ニ供スル者、古既ニ斯ノ如ク、今猶然リ、三春ノ馬、其最駿ナル者、然レ凡物ニ驚

キ易シ、故ニ五戸七戸ノ産ヲ第一トナス、是ヲ五
七ノ馬ト呼ブ、比内ノ産、阿仁ト云ヒ、是ニ次ク、南
部ハ、澤内、雫石ヲ良トシ、仙臺ハ、岩崎、宮崎、迫、鬼首
等ノ産アリ、最上、秋田是ニ次キ、米澤、會津是ニ次
キ、庄内、津輕、又是ニ次ク、東海岸ハ、氣仙、宮古、八戸、
田名部ノ産ハ、鶯ト雖モ、猶用ニ供ス可シ、相馬、岩
城ニ至リテハ、殆馳驅ノ技ニ堪エザル者、是ヲ最
下トナス、而テ、牛ハ南部、秋田ヲ名産ト稱ス、其金
鐵、諸礦ノ盛ナルモ、亦各地ノ良産タリ、會津、秋田、
最上ノ山中ハ、金、銀、銅、鐵ヲ出ス、仙臺ハ、銀、鉛、津輕

ハ、銀、銅、南部ハ、銅、岩鐵ヲ出ス、半田、銀山、細倉、鉛山、
幸生、銅山、其名最聞ユ、硫黃、綠礬ハ、温泉ノ地、必是
ヲ産ス、石炭ハ、岩城ヲ稱スレモ、近來、秋田、山本、二
郡ノ地、多ク産出ス、蠶桑ノ業ハ、各地共ニ盛ナリ、
本吉ノ絲、最其良タリ、呼ブニ、金華山ヲ以テスル
者、全國中、多ク其比ヲ見ズ、卯紙ハ、逢隈川沿岸ノ
地、盛ニ製造ス、然レモ、伊達、信夫ニ於テ、川付三十
六村ト稱スル者ヲ、第一トナス、織物ハ、仙臺、平、南
部、縮緬、庄内、絲織、秋田、卧織、二本松、紬、白石、紙、布等
ニシテ、仙臺ハ、更ニ七子、八端ノ諸品ヲ出シ、南部

ハ、近來多ク産セズシテ、秋田、頃年八丈縞ヲ擬造
 ス、而テ織工ノ盛ナルハ、米澤ニ若ク者ナレ、絲織
 紬ノ諸品ヨリ、博多織、琉球紬ノ類ニ至ル迄、摸擬
 ノ品、極テ巧ナリ、且、麻、苧モ此地ノ良品ニシテ、近
 江、朧、越後、縮等、悉是ヲ用ケザルナレ、最上、西岩井
 モ、亦、麻、苧ヲ出ス、北上川ノ鮭ハ、仙臺子籠ト稱ス
 ル者、最、美味タリ、南部鮭ハ、小本川、市川ヲ盛ナリ
 トナス、而テ、各地ノ川流、是ヲ漁セサルナレ、實ニ
 東北ノ一大名品ナリ、材木ハ、山深ク谷幽ナルカ
 故ニ、諸材産セサルナキモ、田名部ノ檜材ヲ、第一

トナス、藥草モ、亦、數多ナレド、會津ノ人參ヲ推ス、
 秋田落、大ナルハ、自、一ノ名産ニシテ、南部ノ百
 合、旱藕是ニ次ク、南部ハ、又、紅花ノ産ニテ、最上ト
 共、稱セラル、仙臺ノ大豆、亦、輸出ノ大ナル者、岩
 城ハ海漁ヲ盛ニシテ、鯉節、魚油、榨粕等ヲ出ス、煎
 海鼠、干鰯、干鮓ハ、三陸ノ海岸、悉是ヲ製ス、金海鼠
 ハ、金華山ノ産ニシテ、海栗ハ、水戸部ヲ美味トス、
 鑄物ハ、南部ノ鐵瓶、其最良ナル者ナリ、磁器ハ、會
 津、燒ヲ推シ、陶器ハ、相馬、燒ヲ賞ス、津輕、塗、野代、塗、
 會津、塗、共ニ、漆器中ノ美、或ハ盛ナル者ナリ、岩城

紙ハ、延紙ト呼ビ、羽前ノ酒ハ、大山酒ト云フ、味噌、埋木細工、干楠ハ、仙臺ノ産ニシテ、三春烟草、氣仙籠、水澤細、亦名ヲ各地ニ專ニス、蠟漆ハ、米澤、會津山中ノ出ス處最多シ、會津蠟燭ハ、盛ニ輸出シテ、四方ノ必要トナス、其鶴岡ノ花紋ヲ畫クハ、更ニ美麗ヲ極メタリ、而テ米穀ノ産ハ、七國ノ石高ヲ概算スルニ、四百三十萬、實ニ全國七分ノ一二當レリ、其土地ノ大ニシテ、其産ノ盛ナルヲ、知ルヘキナリ、

版權
免許
明治八年十月十八日

版主

大槻修二

本所相生町三丁目十番地

定價五拾五錢

東京馬喰町貳丁目

森屋治兵衛發兌

